

# 令和3年度第1回加須市廃棄物減量等推進審議会

## 次 第（書面審議）

### 1 議 事

- (1) 役員の改選について .....資料 1-1、1-2
- (2) 令和2年度ごみ処理の状況について .....資料 2-1、2-2
- (3) ごみの資源化・減量化に向けた取組について .....資料 3
- (4) 加須・大利根クリーンセンター事業報告について .....資料 4-1、4-2
- (5) 令和2年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて...資料 5
- (6) 令和2年度いなほの湯運営実績について .....資料 6
- (7) 令和3年度一般廃棄物処理実施計画について .....資料 7
- (8) 第2次一般廃棄物処理基本計画策定について
  - (ア) 第2次一般廃棄物処理基本計画の策定概要について .....資料 8
  - (イ) 基本計画策定に係る市民アンケートの実施について .....資料 9-1、9-2

### 【参考資料】

- ・加須市のリサイクル率について

## 議事（１） 会長の選任（案）について

加須市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第４条第１項において、廃棄物減量等推進審議会には会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定めると規定されています。

これまで、会長には、慣例として持ち回り（加須地域→騎西地域→北川辺地域→大利根地域）で各地域の自治協力団体連合会の支部長が務めてこられました。

昨年度は、騎西地域の細谷 信雄様が務めておりましたが、今年度におきましては持ち回り順で、事務局（案）として北川辺地域の平井 喜一郎様にお願いしたいと考えております。

## 加須市廃棄物減量等推進審議会 委員（案）

（敬称略）

No	選出区分	団体名	役職名	氏名	役職 (案)
1	(1)市内の公共的団体等の代表者	加須市自治協力団体連合会加須支部 兼加須地域リサイクル推進協力会	支部長	関根 達男	
2		加須市自治協力団体連合会騎西支部 兼騎西地域リサイクル推進協力会	支部長	川野 謙一	
3		加須市自治協力団体連合会北川辺支 部兼北川辺地域リサイクル推進協力 会	支部長	平井 喜一郎	会長
4		加須市自治協力団体連合会大利根支 部兼大利根地域リサイクル推進協力 会	支部長	榎本 昭夫	
5		かぞ地域女性会連合会	書記	村田 美奈子	
6		加須市くらしの会	会長	杉澤 正子	副会長
7		加須市くらしの会	副会長	村田 秀子	
8		加須市食生活改善推進員協議会	会長	今成 愛子	
9		加須市PTA連合会(小学校)	会計幹事	齋藤 理史	
10		加須市PTA連合会(中学校)	家庭教育委員	片山 上総	
11		加須市商工会	商工会理事 (商業部会長)	竹内 達也	
12		加須市商工会	商工会理事 (女性部長)	小林 章子	
13	(2)知識経験を有する者	埼玉県環境科学国際センター	資源循環・廃棄物担 当部長	川寄 幹生	
14		埼玉県東部環境管理事務所	所長	福田 真道	
15	(3)民間企業、民間団体等の代表者	加須市環境サービス業組合(組合長)	組合長	若山 敬	
16		加須市清掃組合(組合長)	組合長	岩井 松巳	
17		カインズモール大利根	集中品出ラインマネ ジャー	吉永 一平	
18		株式会社ケンゾー加須店	店長	田村 稔	

（敬称略）

## 令和2年度 ごみ処理の状況について

## (1) ごみの収集量

(単位：t、%)

種類	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
① 燃やすごみ	28,721	28,068	653	2.3%
② 燃やさないごみ(危険ごみ含む)	2,351	1,924	427	22.2%
③ 粗大ごみ	435	333	102	30.6%
④ 資源ごみ	9,564	8,688	876	10.1%
⑤ 紙・布	2,711	2,375	336	14.1%
⑥ スチール缶	121	114	7	6.1%
⑦ アルミ缶	96	83	13	15.7%
⑧ びん	491	502	△11	△2.2%
⑨ ペットボトル	212	210	2	1.0%
⑩ プラスチック類・ゴム製品	2,631	2,483	148	6.0%
⑪ 木くず	3,284	2,866	418	14.6%
⑫ 食品循環資源	18	55	△37	△67.3%
⑬ 集団回収	517	948	△431	△45.5%
合計	41,588	39,961	1,627	4.1%

※食品循環資源は、事業所が独自に処理委託した量  
 ※台風19号に伴う災害廃棄物(稲わら)206tを除く

## (2) ごみ処理の主な指標

種類	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
① ごみの総量	41,588 t	39,961 t	1,627 t	4.1%
② 一人1日当たりのごみ排出量※	1,010 g	966 g	44 g	4.6%
③ 資源化総量	15,977 t	14,825 t	1,152 t	7.8%
④ リサイクル率	38.4%	37.1%	1.3 ポイント	
⑤ 最終処分量	1,324 t	1,205 t	119 t	9.9%

※ 一人1日当たりのごみ排出量 = ごみの総量 / 365日(366日) / 人口(10月1日現在)

※ 令和3年度までの目標値

一人1日当たりのごみ排出量 : 829 g

リサイクル率 : 40 %

《ごみの種類別排出量の推移》

資料2-2

(1)ごみの収集量

(単位：t)

種類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
① 燃やすごみ	32,595	26,128	26,985	27,790	27,797	27,950	28,113	28,068	28,721
② 燃やさないごみ（危険ごみ含む）	3,253	1,680	1,647	1,720	1,755	1,788	1,934	1,924	2,351
③ 粗大ごみ	1,367	536	409	320	289	298	321	333	435
④ 資源ごみ	6,311	10,172	9,920	9,728	10,167	9,767	9,792	8,688	9,564
⑤ 紙・布	2,170	3,631	3,396	3,105	2,881	2,576	2,437	2,375	2,711
⑥ スチール缶	272	170	156	145	132	124	123	114	121
⑦ アルミ缶	82	98	92	88	87	86	85	83	96
⑧ びん	623	668	650	614	564	565	532	502	491
⑨ ペットボトル	219	232	222	218	221	218	223	210	212
⑩ プラスチック類・ゴム製品	168	2,532	2,541	2,638	2,525	2,563	2,512	2,483	2,631
⑪ 木くず	2,777	2,841	2,863	2,920	3,736	3,602	3,815	2,866	3,284
⑫ 食品循環資源	-	-	-	-	21	33	65	55	18
⑬ 集団回収	1,313	1,354	1,230	1,192	1,120	1,068	1,007	948	517
合計	44,839	39,870	40,191	40,750	41,128	40,871	41,167	39,961	41,588

(2)ごみ処理の主な指標

種類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
① ごみの総量	44,839 t	39,870 t	40,191 t	40,750 t	41,128 t	40,871 t	41,167 t	39,961 t	41,588 t
② 一人1日当たりのごみ排出量	1,054 g	942 g	957 g	973 g	988 g	984 g	995 g	966 g	1,010 g
③ 資源化総量	13,928 t	16,215 t	15,627 t	15,759 t	16,087 t	15,857 t	15,791 t	14,825 t	15,977 t
④ リサイクル率	31.0%	40.7%	38.9%	38.7%	39.1%	38.8%	38.4%	37.1%	38.4%
⑤ 最終処分量	1,778 t	1,444 t	1,362 t	1,285 t	1,211 t	1,201 t	1,252 t	1,205 t	1,324 t

(3)人口・世帯数

種類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
人口(人)	116,516	115,945	115,094	114,440	114,028	113,745	113,334	113,069	112,852
世帯数(世帯)	43,454	43,453	44,314	44,719	45,323	46,031	46,642	47,370	48,143

ごみの資源化・減量化に向けた取組

資料 3

取組項目	No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評価	成果・目標指標							令和3年度の取組内容	
						指標(単位)	ごみ処理施設見学会実施校数 (校)							
1 発生抑制・資源化計画	1	教育・啓発活動の充実	【目的】 ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制、再使用、再生利用等5Rを推進する。	○小学校4年生を対象にクリーンセンター見学会を開催した。(1校2クラス26人) ○ごみに関する情報をホームページに掲載するとともに、市報かぞへ「日本一のリサイクルのまちをめざして」として年5回(4,6,8,10,2月)掲載し、情報提供した。	6・コロナによる影響	指標(単位)	ごみ処理施設見学会実施校数 (校)						○学校における環境学習(小学校4年生を対象としたクリーンセンター見学会の開催や希望に応じた出前講座の実施) ○資源ごみ回収を行う団体への支援 ○食品ロス削減の取組の周知 ○飲食店等の「食べきりかぞ」協力店を募集・登録し、その取組を周知 新「食べきりかぞ協力店ステッカー及びポスター」作成 新「ベトナム語版「ごみの分け方・出し方」」作成	
		資源リサイクル課	【概要】 児童・生徒をはじめ市民に対して、意識を高めるため教育・啓発を行う。	○資源ごみ回収を行う52団体へ報償金を2,584,395円を支援し、517tの資源化を推進した。 ○食べきりかぞ協力店の登録数を57店(年度末現在)に拡大し、その取組を周知した。 ○レジ袋の削減のため、全世帯に加須市オリジナルのマイバッグを配布した。		年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)		
	2	多量排出事業者に対する減量化指導の徹底	【目的】 事業用大規模建築物の所有者又は占有者のごみの資源化・減量化を図る。	○6月、10月に県との協働による事業系ごみ削減キャンペーンにおいて、チラシの配布やホームページ掲載による、事業者に対する啓発の実施した。 ○市職員向けの分別指導を行い、事業者としての資源化・減量化を促進した。	6・コロナによる影響	指標(単位)	事業系ごみ搬入検査実施数 (回)						○事業系一般廃棄物を収集運搬する許可業者に対し、搬入時検査を実施 ○チラシの配布やホームページ掲載による、事業者に対する啓発の実施 ○市自ら、事業者としての資源化・減量化の促進	
		資源リサイクル課	【概要】 事業系ごみの分別排出への協力を呼びかける啓発を行う。			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)		
	3	飲食物容器、包装廃棄物等の排出抑制	【目的】 市民と事業者の協働によって、ごみの資源化・減量化を推進する。	○市ホームページやリサイクル推進員研修会において、不要なレジ袋の辞退とマイバッグの使用を啓発した。 ○市役所内におけるプラスチック削減運動(マイボトル・マイバッグ運動)の実施(1/4~) ○レジ袋の削減のため、全世帯に加須市オリジナルのマイバッグを配布した。(3/1~)	2・概ね達成	指標(単位)	プラスチック類ゴム製品ごみ排出量 (t)						○使い捨てプラスチックの排出抑制への周知啓発 ○「マイバッグ運動」、「マイボトル運動」の実施 ○市ホームページやリサイクル推進員研修会において、不要なレジ袋の辞退とマイバッグの使用を啓発 ○市役所内におけるプラスチック削減運動(マイボトル・マイバッグ運動)の継続実施	
資源リサイクル課		【概要】 民間事業者の資源物の店頭回収の普及により、資源化を促進する。		年度		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
4	グリーン購入の推進	【目的】 環境負荷の少ない製品・サービスなどの普及や製品開発を促進するため、グリーン購入の拡大に努める。	○市が率先して環境配慮型事務用品をはじめとした環境物品等(環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務)の調達を総合的かつ計画的に推進した。	2・概ね達成	指標(単位)	環境物品調達率 (%)						○市が率先して環境配慮型事務用品をはじめとした環境物品等(環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務)の調達を総合的かつ計画的に推進		
	環境政策課	【概要】 再生品等を購入することによって、再生品の需要を生み出し、ごみの再資源化を推進する。			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
5	バイオマスの資源化と有効活用	【目的】 バイオマスの資源化を普及し、燃やすごみの減量化を図る。	○生ごみ処理容器116基(コンポスト45基、電気式処理機71基)に補助金を交付し、自家処理を推進した。 ○民間施設を利用し、一般家庭や事業所などから発生する木くず類をチップ化して、発電施設や製紙メーカーなどの工場で代替燃料として使用する緑のリサイクル事業の促進を行った。	1・目標を達成	指標(単位)	草木類のチップ化量 (t)						○生ごみ処理容器の利用促進 ○緑のリサイクル事業の促進(公共事業から排出される草木類の資源化、クリーンセンターに搬入された草木類・家具類の資源化) ○生ごみのたい肥化の啓発		
	資源リサイクル課	【概要】 生ごみ及び木くず類の資源化・減量化を促進する。			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
						目標	3,920	3,940	3,960	3,980	4,000	4,020		
						実績	4,851	4,883	5,106	4,208	4,808			
						【評価の理由】 実績値/目標値=120% 広報等により緑のリサイクル事業の周知を図った。 草木類の処理量は、昨年度から600t増加し、排出された木くず類を適正に資源化することができたため。								

取組項目	No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評価	成果・目標指標							令和3年度の取組内容
						指標(単位)	小型家電資源化量 (t)						
1 発生抑制・資源化計画	6	小型廃家電リサイクル事業	【目的】 小型家電のリサイクルにより、資源化を図る。	○粗大ごみ処理施設における適切な分別(直接搬入者による分別及び作業員によるピックアップ回収)を実施した。 ○「小型家電回収ボックス」を本庁舎・各総合支所へ設置し、排出機会の少ない小型家電の拠点回収を行った。	1・目標を達成	指標(単位)	小型家電資源化量 (t)						○粗大ごみ処理施設における適切な分別(直接搬入者による分別及び作業員によるピックアップ回収)の実施 ○リサイクルフェアにおけるパソコン等のイベント回収の実施 ○本庁舎・各総合支所へ小型家電回収ボックスを設置
		資源リサイクル課	【概要】 「燃やさないごみ」「粗大ごみ」として排出された小型家電を選別し、リサイクル業者と提携し、再資源化を図る。			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	
			目標	190	190	190	190	190	190				
			実績	171	188	212	220	296					
			【評価の理由】 実績値/目標値=156% 選別の徹底やボックス回収の効果により、小型家電の処理量を昨年度から76t増加させることができたため。										
	7	リユースの推進	【目的】 リユースによるごみの減量化を図る。	○粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡する「リサイクルフェア」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。 ○クリーンセンター搬入ごみから、使用可能なものを公共施設利用備品として積極的に活用した。	6・コロナによる影響	指標(単位)	リサイクルフェアでのリユース(引渡)量 (kg)						○リサイクルフェアの開催 ○公共施設利用備品における、クリーンセンター搬入ごみの積極的な活用
資源リサイクル課		【概要】 リサイクルフェアを活用し、家庭で不要となった家具等の有効利用を推進する。	年度			28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)		
		目標	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000					
		実績	13,558	8,218	6,774	4,057	0	0					
		【評価の理由】 実績値/目標値=0% 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、予定していたリサイクルフェアを中止した。											
	8	資源の分別収集の活用	【目的】 資源の分別収集を活用し、資源化を推進する。	○資源化を推進するため、資源ごみ回収報償金制度を活用し、資源ごみ回収を行う52団体へ報償金を2,584,395円を支援した。 ○ホームページに資源ごみの行方の情報を提供した。 ○リサイクル推進協力会へ、集積所用分別看板や案内表示等の作成支援をした。	6・コロナによる影響	指標(単位)	資源ごみ集団回収量 (t)						○資源ごみ回収団体への支援 ○広報、ホームページにより、資源ごみの行方の情報を提供 ○リサイクル推進協力会へ、集積所用分別看板や案内表示等の支援 新スーパー等が独自に行う食品トレーやびん、缶、ペットボトルなどの店頭回収と連携した取組みの検討
資源リサイクル課		【概要】 市が実施している資源ごみの分別収集において、市民との協働による分別を促進する。	年度			28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)		
		目標	1,632	1,673	1,714	1,760	1,796	1,830					
		実績	1,120	1,068	1,007	948	517						
		【評価の理由】 実績値/目標値=28.8% 新型コロナウイルス感染症の影響で、集団回収を実施する団体が減少し、目標に達しなかったため。											
	9	生ごみのたい肥化によるごみの減量(リデュース)	【目的】 燃やすごみの減量化を図る。	○生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化及び資源化を図るため、生ごみ処理容器83基(コンポスト45基、電気式処理機71基)に対し生ごみ処理容器購入費補助金を交付した。 ○生ごみ処理容器購入費補助金について、広報紙、ホームページへ掲載するとともに、チラシを配布して周知した。 ○補助金制度利用者へチラシを配布し、生ごみ処理機使用後の処理物たい肥としての活用を周知した。	3・やや遅れている	指標(単位)	生ごみ処理容器購入補助基数 (基)						○生ごみ処理容器の利用促進 ○生ごみ処理容器購入費補助金の周知 ○生ごみ処理機使用後の処理物のたい肥としての活用の周知
資源リサイクル課		【概要】 生ごみ処理容器等を活用し、生ごみのたい肥化を推進する。	年度			28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)		
		目標	150	150	150	150	150	150					
		実績	109	74	97	83	116						
		【評価の理由】 実績値/目標値=77.3% 平成24年度から補助金額の統一・拡充を行ったことで、多くの世帯が購入した(H24:520基、H25:451基、H26:200基)。その後、平成30年度にテレビ報道による増加があったものの、年間80基程度の水準となっている。令和2年度はチラシの配布等により自家処理を促進したものの、116基で目標には達しなかったため。											
2 収集・運搬計画	10	ごみ分別の徹底	【目的】 分別品目に従った分別を徹底する。	○ごみに関する情報をホームページに掲載するとともに、市報かぞへ「日本一のリサイクルのまちをめざして」として年5回(4,6,8,10,2月)掲載し情報提供した。 ○地区別ごみカレンダーを作成し、全戸に配布した。 ○組成調査による調査結果を活用した、啓発資料を作成した。 ○リサイクル推進協力会との協働による分別の徹底や、集積所の掲示等を作成し適正排出のための支援を行った。 ○委託業者に対し、適正なごみ収集業務の指導を	2・概ね達成	指標(単位)	リサイクル率 (%)						○情報の提供(ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○組成調査によるごみ分別状況の把握 ○リサイクル推進協力会との協働による分別収集の徹底 ○委託業者による適正なごみ収集業務の指導
		資源リサイクル課	【概要】 市民に対して、分別区分に従って分別を徹底するよう周知を図る。また、分別排出されたごみは、資源化及び適正処理・処分が図れるよう迅速かつ衛生的に収集・運搬する。			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)	
		目標	40	40	40	40	40	40					
		実績	39.1	38.8	38.4	37.1	38.4						
		【評価の理由】 令和2年度は速報値 実績値/目標値=96% 全国的にリサイクル率は微減の傾向であるものの、前年度から率は増加となり、引き続き高い水準を維持できたため。											



取組項目	No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の実績内容	評価	成果・目標指標	令和3年度の実績内容
2 収集・運搬計画	11	ごみ集積所の維持管理の徹底 資源リサイクル課	【目的】 ごみの分別活動を促進し、資源化を図る。  【概要】 リサイクル推進協会を中心とする集積所の維持管理を徹底し、ごみの分別活動を促進する。	○市民と行政の協働によるごみの資源化と減量化を図るため、リサイクル推進協会への活動交付金を交付し支援した。 ○集積所の環境整備のため、カラスネット及びごみ収納かごの配付やごみ集積所整備を支援した。 ○各地域に即した看板を作成するなど、集積所維持管的支援を実施した。	1・目標を達成	指標(単位) リサイクル推進員経験者数 (人) 年度 28年度 29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 目標 1,500 1,800 2,100 2,400 2,700 3,000 実績 1,624 1,989 2,310 2,652 2,986 【評価の理由】 実績値/目標値=111% 推進員経験者も順調に増加しており、ごみの分別に貢献したため。	○リサイクル推進協会への活動交付金の支援 ○ごみ収納かご、ごみ集積所整備への支援 ○集積所維持管理にかかる技術的支援 ○リサイクル推進協会同士の情報交換の支援
	12	事業系ごみの排出者責任の徹底 資源リサイクル課	【目的】 事業者による適正処理により、ごみの資源化・減量化を図る。  【概要】 事業系ごみは、自らが処理処分を適正に処理を行うよう指導する。	○排出事業者に向け、市ホームページやチラシ等により、適正処理の周知を行った。 ○搬入物展開検査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	1・目標を達成	指標(単位) 事業系ごみの排出量 (t) 年度 28年度 29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 目標 10,214 10,194 10,104 10,088 9,935 9,835 実績 10,038 10,103 10,283 9,208 9,603 【評価の理由】 目標値/実績値=103% 適時、事業者へごみ減量化への周知を図り、前年度に比べ排出量は増加傾向になったものの、目標値を達成しているため。	○市ホームページやチラシ等による排出者責任や適正処理の周知 ○県との協働による事業系ごみ削減キャンペーンを実施
3 中間処理計画	13	適正処理の推進 資源リサイクル課	【目的】 分別収集したごみについて、資源の循環が図りやすい処理体制を推進する。  【概要】 分別収集したごみを中間処理し、資源化を優先的に行い、資源化が困難なごみについては焼却処理し熱回収を行う。	○分別収集したごみを効率的に選別し、資源物毎に適正な中間処理を実施した。 ○中間処理施設の周辺における適正な環境への配慮を指導した。 ○有価物の適正なルートでの売り払いを行った。 ○プラスチック類・ゴム製品の一部を容器包装リサイクル法に基づく資源化を行った。	1・目標を達成	指標(単位) 資源化総量 (t) 年度 28年度 29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 目標 13,821 13,968 14,115 14,293 14,409 14,520 実績 16,088 15,857 15,791 14,825 15,976 【評価の理由】 実績値/目標値=103% 前年度より1,151t増加しており、ごみ分別が浸透していると推測できるため。	○分別収集したごみの適正な中間処理 ○周辺環境への配慮 ○有価物の適正なルートでの売り払い ○効果的な資源化方法の調査・研究 新 プラスチック類・ゴム製品の安定処理に向けた処理先の確保
	14	資源化の拡充 資源リサイクル課	【目的】 資源化の拡充を図り、資源化を推進する。  【概要】 資源化できる品目を拡充できるよう、研究を実施する。	○粗大ごみ処理施設に搬入されたごみを効率的かつ適切な分別を実施した。 ○焼却灰を2,846t資源化した。 ○埋め立てている不燃残渣に含まれるガラス類・陶磁器類を資源化した。	1・目標を達成	指標(単位) 中間処理後の資源化量 (t) 年度 28年度 29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 目標 11,921 11,971 12,105 12,054 12,001 11,957 実績 11,840 11,974 12,114 11,286 12,521 【評価の理由】 実績値/目標値=104% 資源化量が前年度より1,235t増加しており、リサイクル率は高水準を保っているため。	○粗大ごみ処理施設における適切な分別の実施 ○焼却灰の資源化 ○資源化品目拡充に関する調査・研究 ○ガラス類・陶磁器類の資源化
4 最終処分計画	15	最終処分埋立量の削減 資源リサイクル課	【目的】 埋立量の削減を図り、最終処分場の延命化を図る。  【概要】 ごみの資源化・減量化、焼却灰の有効利用により、埋め立てる最終処分量を減らす。	○ごみに関する情報をホームページに掲載するとともに、市報かぞへ「日本一のリサイクルのまちをめざして」として年5回(4,6,8,10,2月)掲載し、情報提供した。 ○地域別ごみカレンダーを作成し、全戸に配布した。 ○食べきりかぞ協力店の登録数を57店(年度末現在)に拡大し、その取組を周知した。 ○生ごみ処理容器116基(コンポスト45基、電気式処理機71基)に補助金を交付し、自家処理を推進した。 ○焼却灰を2,846t資源化した。	2・概ね達成	指標(単位) 最終処分量 (t) 年度 28年度 29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度(目標年) 目標 1,187 1,175 1,161 1,151 1,133 1,118 実績 1,210 1,201 1,252 1,205 1,324 【評価の理由】 目標値/実績値=86% 最終処分(埋立)量は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛の影響で、燃やすごみの量の増加などにより、昨年度から119t増加したため。	○情報の提供 (ごみに関する情報を適時SNSやホームページ、市報かぞにて提供) ○ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方、集積所の掲示等の適正排出のための支援 ○食品ロスの削減 ○生ごみの自家処理の推進 ○焼却灰の資源化 ○ガラス類・陶磁器類の資源化



取組項目	No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評価	成果・目標指標							令和3年度の取組内容
						指標(単位)	施設の不具合等による市外への他施設への搬出量 (t)						
5 施設整備計画	16	施設整備の検討	【目的】 健全な施設運営のため、施設整備の検討を行う。	○定期的な施設点検や必要な修繕を行い、安定した処理を行った。	1・目標を達成	指標(単位)	施設の不具合等による市外への他施設への搬出量 (t)						○ごみ処理施設全体(加須クリーンセンター、大利根クリーンセンター)の適正な維持管理 ○施設の再編等の検討
		年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
目標	0	0	0	0	0	0							
実績	0	0	0	0	0	0							
【評価の理由】 実績値/目標値=100% 効率的な施設管理と適切な修繕を実施し、施設機能の維持に努めたため。													
6 ごみ処理関連事項	17	災害廃棄物の処理・処分、処理体制の維持	【目的】 災害廃棄物の適正処理・リサイクルを行う。	○平成31年2月に策定した「加須市災害廃棄物処理計画」の課題を洗い出し、令和2年10月20日に計画を改訂した。	1・目標を達成	指標(単位)	災害廃棄物処理計画の策定及び確認						○災害廃棄物処理計画に基づく準備と訓練の実施 ○災害廃棄物処理計画の確認
		年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
目標	—	—	策定	実施	実施	実施							
実績	—	—	策定	実施	実施	実施							
【評価の理由】 災害廃棄物処理計画の改訂したため。													
6 ごみ処理関連事項	18	廃棄物減量化等推進審議会、加須市リサイクル推進協力会の設置	【目的】 廃棄物減量等推進審議会及び加須市リサイクル推進協力会を設置し、リサイクル推進員を任命する。	○実施計画を策定し、進行管理を行った。 ○審議会を開催し、事業成果の報告、委員の意見聴取した。 ○リサイクル推進協力会の活動支援した。(研修会の開催、ごみ収納かご、カラスネット配布等) ○ごみ集積所の管理支援をした。(整備費の補助、不法投棄対策支援等) ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場に一同を集めて行う集合研修は中止とし、代わりに各推進員にリサイクル推進員マニュアルの配布を行った。	6・コロナによる影響	指標(単位)	リサイクル推進員研修会開催数 (回)						○実施計画の策定及び進行管理 ○審議会を開催し、事業成果の報告、委員の意見聴取 ○リサイクル推進協力会の活動支援(研修会の開催、ごみ収納かご、カラスネット配布等) ○ごみ集積所の管理支援(整備費の補助、不法投棄対策支援等) <b>新 第2次一般廃棄物処理基本計画(令和4～13年度)の策定</b>
		年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
目標	9	9	9	9	9	9							
実績	9	8	9	8	4								
【評価の理由】 実績値/目標値=44% 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地域での集合研修を中止し、リサイクル推進員へのマニュアル配布に代えたため。													
6 ごみ処理関連事項	19	環境美化の推進	【目的】 市民や事業者との協働による清潔な地域環境の実現を図る。	○市内各地域の一斉清掃の実施 ○全市一斉清掃(3月)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 ○渡良瀬遊水地クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	6・コロナによる影響	指標(単位)	一斉清掃参加者数 (人)						○市内各地域の一斉清掃の実施 ○市内全地域同一期間一斉清掃の実施(3月) ○渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施
		年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
目標	34,900	35,000	35,100	35,200	35,300	35,400							
実績	32,347	33,575	31,442	22,034	1,549								
【評価の理由】 実績値/目標値=4.4% 年間12回の開催予定のうち11回が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった影響を受け、参加者が目標に達しなかったため。													
6 ごみ処理関連事項	20	処理困難廃棄物の適正な処理・処分の指導強化	【目的】 市で収集しないごみの適正な処理を推進する。	○市報や市ホームページ、ごみ分別辞典等にて、処理困難物、家電リサイクル法対象製品、パソコン等の処分方法の周知・情報提供を行った。 ○集積所等に投棄された処理困難物を回収し、適正に処理した。	6・コロナによる影響	指標(単位)	リサイクルフェアでのパソコン回収台数 (台)						○処理困難物、家電リサイクル法対象製品、パソコン等の処分方法の周知・情報提供 ○リサイクルフェアにおける不要パソコン等のイベント回収の実施
		年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(目標年)			
目標	100	120	140	160	180	200							
実績	70	162	416	149	0								
【評価の理由】 実績値/目標値=0% 平成28年度にリサイクルフェア開催時のパソコン回収の試行を行い、平成29年度2回、平成30年度4回、令和元年度2回のイベント回収を行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、リサイクルフェアを実施できなかったため													

取組項目	No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和2年度の取組内容	評価	成果・目標指標						令和3年度の取組内容
						指標(単位)	不法投棄投棄防止パトロール回数 (回)					
6 ごみ処理 関連 事項	21	不法投棄対策の強化	【目的】 不法投棄の再発を防止する。	○市職員による、不法投棄多発地域へのパトロールを実施した。(24回) ○私有地等への不法投棄を抑止するため、希望者に対し、不法投棄防止看板を配付した。 ○リサイクル推進協力会や地域住民と協働し、不法投棄の情報共有及び処理対応を行った。	1 ・ 目 標 を 達 成	年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度 (目標年)
						目標	24	24	24	24	24	24
		実績	19			19	24	25	24			
		【評価の理由】 実績値/目標値=100% 不法投棄多発地域へのパトロールの実施や、不法投棄防止看板の配布を引き続き実施したため。										
		資源リサイクル課	【概要】 不法投棄防止のための啓発、市民との協働による再発の防止に努める。									○不法投棄監視パトロールの実施 ○埼玉県併任職員制度の活用 ○不法投棄防止看板による啓発 ○リサイクル推進協力会、地域住民との協働 ○警察や埼玉県と連携した不法投棄への対応

## 加須クリーンセンター事業報告書

### 1. 加須クリーンセンター事業費の状況

○R 2年度 780,330,669 円 (大利根クリーンセンター 246,416,175 円)

○R 元年度 674,935,286 円 (大利根クリーンセンター 231,119,679 円)

○H30年度 692,626,541 円 (大利根クリーンセンター 214,060,375 円)

※健康ふれあいセンター管理運営事業は含まない。

### 2. ごみ処理の状況

#### (1) 燃やすごみ搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
加 須 地 域	17,120 t	17,031 t	17,313 t
騎 西 地 域	5,359 t	5,442 t	5,373 t
合 計	22,479 t	22,473 t	22,686 t

R2 年度：搬入量 22,686 t の中から、草木類 60 t、紙類 72 t、布団類 6 t、布 8 t を分別し再資源化しました。

《参考》

・R 元年度 22,473 t に対し、R2 年度は、213 t の増 (0.94% の増)

#### (2) 粗大ごみ搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
加 須 地 域	70 t	74 t	93 t
騎 西 地 域	13 t	14 t	16 t
北川辺・大利根地域	15 t	18 t	23 t
合 計	99 t	106 t	132 t

#### (3) 燃やさないごみ搬入量 (危険ごみ搬入量含む)

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
加 須 地 域	1,126 t	1,179 t	1,480 t
騎 西 地 域	410 t	430 t	528 t
北川辺・大利根地域	175 t	156 t	183 t
合 計	1,711 t	1,765 t	2,191 t

R2 年度：粗大ごみ、燃やさないごみの中から、家具類 367t、小型家電 258t、金属類 613t、プラスチック類 87t、硬質プラスチック 23 t、びん類 22 t、アルミ缶 4 t、スチール缶 10t を分別し再資源化し、また、危険ごみの中から、乾電池 32 t、蛍光管 10 t を資源化しました。

※廃プラスチック類は、北海道室蘭市内の施設、茨城県ひたちなか市内の施設または栃木県鹿沼市内の施設へ運搬し、セメント生成の燃料及び原料または発電燃料として再資源化しています。

(4) ペットボトル処理量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
全 地 域	223t	210 t	212 t

(5) 焼却灰等の状況

○ 焼却灰等の処分の状況

処 分 の 内 訳	H30 年度	R 元年度	R2 年度
再 資 源 化	2,081 t	2,169 t	2,403 t
埋 立 処 分	785 t	816 t	823 t
計	2,866 t	2,985 t	3,226 t

3. ごみ焼却施設について

(1) ごみ焼却施設の修繕の状況について

令和元年度の状況

区 分	内 容
① 1号・2号焼却炉耐火物修繕	耐火煉瓦積替、断熱煉瓦積替、保温材撤去復旧、アンカー撤去取付、耐火物解体・運搬等
② ごみ焼却設備定期修繕	1号・2号炉内火格子取替修繕、2号炉バグフィルタ出口ダンパ更新等
③ バグフィルタ下部スクレパーコンベヤ補修	チェーン撤去復旧、テンションプロケット交換、ケーシング当て板補修、塗装、試運転調整等
④ 粗大ごみ処理施設設備機器修繕	供給フィーダ修繕、不燃物選別機修繕、磁選機修繕等
⑤ 浸出水処理施設修繕	複作動式自動バタフライ弁・複作動式操作弁・手動バタフライ弁等の配管撤去・敷設、交換・整備、試運転調整等
決 算 額 96,403,322 円	

令和2年度の状況

区 分	内 容
① 1号・2号焼却炉耐火物修繕	耐火煉瓦積替、断熱煉瓦積替、保温材撤去復旧、アンカー撤去取付、耐火物解体・運搬等
② 2号炉ガス冷却室天井部交換修繕	2号炉ガス冷却室天井部交換、2号炉炉内耐火物修繕
③ 消防設備（火災報知器）修繕	ごみ焼却棟自動火災報知設備
④ 粗大ごみ処理施設修繕	供給フィーダ、破碎物コンベヤ、ペットボトル結束機修繕等
⑤ 浸出水処理施設修繕	汚泥脱水機修繕等
決 算 額 181,223,138 円	

(2) 環境測定結果

【目的】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び大気汚染防止法に基づく測定の実施とダイオキシン類対策特別措置法に定めるところによる、ダイオキシン類の測定を実施しています。

また、環境省から、一般廃棄物焼却施設における、焼却灰（主灰）、飛灰等の放射性セシウムの濃度測定要請を受け実施しています。

ごみ焼却施設排出ガス

測定結果は、下記のとおりで、いずれも基準値内です。

試料採取日	測定結果				排出基準値	単位
	R2. 5. 7	R3. 1. 13	R2. 5. 27	R3. 2. 3		
測定項目	1号炉煙突	1号炉煙突	2号炉煙突	2号炉煙突		
硫黄酸化物	0.38	0.49	0.26	0.40	113	m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	0.006 未満	0.005 未満	0.006 未満	0.006 未満	0.08	g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	9	13	6	16	200	mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	63	28	49	38	180	ppm

① ダイオキシン類濃度

結果は、下記のとおり、いずれも国の「ダイオキシン類対策特別措置法」で定める排出基準値を下回る結果となっています。

単位：ごみ焼却施設 1号炉、同2号炉 ng-TEQ/m<sup>3</sup>N (ナノグラム)

単位：集塵灰 (ばいじん)、焼却灰 ng-TEQ/g (ナノグラム)

施設名	R2 年度(A) (測定日 1号炉 R2. 10. 30、 2号炉 R3. 2. 4)	R 元年度(B) (測定日 1号炉 R1. 10. 31、 2号炉 R1. 10. 11)	H30 年度 (測定日 1号炉 H30. 10. 31、 2号炉 H30. 10. 9)	排出基準値 ※参考値	増減(A-B)
ごみ焼却施設 1号炉	0.0015	0.038	0.011	1	△0.0365
ごみ焼却施設 2号炉	0.037	0.014	0.025	1	0.023
集塵灰 (ばいじん)	0.29	0.37	0.23	※3	△0.08
焼却灰	0.020	0.00069	0.00080	※3	0.01931

△印は、前年度比較して減少したことを示します。

(注) ナノグラム (10億分の1グラム)

② 放射能 (放射性ヨウ素、セシウム 134、セシウム 137)

○ ごみ焼却灰・飛灰

測定結果は、国が示している埋立処分の基準値 (8,000Bq/kg) を大きく下回る結果となっています。

単位：Bq/kg (ベクレル)

ごみ焼却灰 (主灰)	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
	R2. 7. 10	不検出	不検出	24.7	24.7
	R3. 1. 15	不検出	不検出	8.59	8.59
ごみ飛灰	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
	R2. 6. 17	不検出	不検出	80.1	80.1
	R2. 7. 17	不検出	不検出	61.3	61.3
	R2. 8. 17	不検出	不検出	88.5	88.5



ごみ飛灰	R2. 9. 17	不検出	不検出	65. 5	65. 5
	R2. 10. 16	不検出	不検出	56. 3	56. 3
	R2. 11. 17	不検出	不検出	99. 2	99. 2
	R2. 12. 17	不検出	不検出	91. 1	91. 1
	R3. 1. 15	不検出	不検出	58. 1	58. 1
	R3. 2. 17	不検出	不検出	52. 0	52. 0
	R3. 3. 17	不検出	不検出	80. 6	80. 6

※焼却灰及び飛灰の取扱い（環境省）

- ① セシウム合計が8,000ベクレル以下は、埋立処分
  - ② セシウム合計が8,000ベクレルを超え100,000ベクレル以下は、一時保管
  - ③ セシウム合計が100,000ベクレルを超える場合は、適切に放射線を遮へいできる施設で保管
- なお、本市の場合は、①に該当する為、民間事業者に委託して路盤材として再生利用しています。

○ 排ガス

測定結果は、下記のとおりです。

単位：Bq/kg（ベクレル）

排ガス	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
	R2. 7. 10	—	不検出	不検出	—
	R3. 1. 15	—	不検出	不検出	—

○ 最終処分場放流水

測定結果は、下記のとおりです。

単位：Bq/kg（ベクレル）

最終処分場 放流水	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
	R2. 7. 17	—	不検出	不検出	—
	R3. 1. 15	—	不検出	不検出	—

○ 地下水

測定結果は、下記のとおりです。

単位：Bq/kg（ベクレル）

地下水	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
	R2. 7. 17	—	不検出	不検出	—
	R3. 1. 15	—	不検出	不検出	—

(3) 施設の稼働状況

○ 施設能力 108 t /24h×2 基（計216 t /日）

項目	H30 年度	R 元年度	R2 年度
運転日数	297 日	297 日	312 日

※運転時間帯 24 時間連続運転

4. し尿搬入量

(単位：kℓ)

区分		H30 年度	R 元年度	R2 年度
加須地域	生し尿	521	527	458
	浄化槽汚泥等	13,683	13,810	14,177
	計	14,204	14,337	14,635

騎西地域	生し尿	210	187	202
	浄化槽汚泥等	5,033	4,975	5,434
	計	5,243	5,162	5,636
合計		19,447	19,499	20,271

## 5. し尿処理施設について

### (1) し尿処理施設の修繕の状況について

#### 令和元年度の状況

区 分	内 容
① し尿処理施設修繕	脱臭設備修繕、高度処理施設修繕、脱水Ⅱ剤設備修繕、地下ポンプ室排風機修繕、薬品設備修繕等
② 汚泥切出コンベヤ減速機取替	汚泥切出コンベヤ用サイクロ減速機交換・調整等
③ し尿管棟消防設備点検修繕	管理棟自動火災報知設備・受信機発光ダイオード等の交換・調整作業
決算額 26,010,346円	

#### 令和2年度の状況

区 分	内 容
① し尿処理施設修繕	ガス攪拌ブロワ点検、曝気ブロワ点検整備、中濃度臭気ファン整備、高濃度臭気ブロワ整備、苛性ソーダ配管整備、UV計、pH計等計器整備修繕、雑用水ポンプユニット整備等
決算額 16,654,000円	

### (2) 環境測定結果

#### 【目的】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び水質汚濁防止法に基づき放流水の水質検査の実施とダイオキシン類対策特別措置法に定めるところによりダイオキシン類の測定を実施しています。

また、環境省から、一般廃棄物焼却施設における、焼却灰（主灰）の放射性セシウムの濃度測定要請を受け実施しています。

#### ① 放流水

測定結果は、下記のとおり、いずれも基準値内です。

測定項目	測定結果		基準値	単位
	試料採取日 (R2. 5. 12)	試料採取日 (R2. 12. 3)		
水素イオン濃度 (PH)	7.6	8.0	5.8~8.6	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	<0.5	0.5	30	mg/l
化学的酸素要求量 (COD)	3.9	5.7	—	mg/l
浮遊物質 (SS)	不検出	不検出	60	mg/l
大腸菌群数	不検出	不検出	3,000	個/cm <sup>3</sup>

#### ② ダイオキシン類濃度

結果は、下表のとおり、いずれも国の「ダイオキシン類対策特別措置法」で定める排出基準値を下回る結果となっています。

単位：ng-TEQ/m<sup>3</sup>N（ナノグラム）

施設名	R2年度(A) (測定日 R2. 9. 16)	R元年度(B) (測定日 R1. 9. 26)	H30年度 (測定日 H30. 9. 20)	排出基準 ※参考値	増減(A-B)
し尿焼却炉	0.00073	0	0.00026	10	0.00073
焼却灰	0	0	0.000004	(3)管理値	±0

△印は、前年度比較して減少したことを示します。 (注) ナノグラム（10億分の1グラム）  
 ※飛灰及び焼却灰の基準値については、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則、附則第二条第3項第2号の規定に基づく薬剤処理を行っていることから排出基準の対象になりません。  
 ※管理値とは、加須市が独自に設定している運転管理の目標値です。

③ 放射能（放射性ヨウ素、セシウム134、セシウム137）

測定結果は、国が示している埋立処分の基準値（8,000Bq/kg）大きく下回る結果となっています。

単位：Bq/kg（ベクレル）

区分	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
し尿焼却灰	R2. 7. 10	不検出	不検出	78.8	78.8
	R3. 1. 15	不検出	不検出	77.0	77.0

※焼却灰及び飛灰の取扱い（環境省）

- ① セシウム合計が8,000ベクレル以下は、埋立処分
- ② セシウム合計が8,000ベクレルを超え100,000ベクレル以下は、一時保管
- ③ セシウム合計が100,000ベクレルを超える場合は、適切に放射線を遮へいできる施設で保管  
 なお、本市の場合は、①に該当する為、民間事業者に委託して路盤材として再生利用しています。

(3) 施設の稼働状況

○処理能力 75 kl/日（し尿 50 kl/日、浄化槽汚泥 25 kl/日）

※運転時間 24時間

6. 加須クリーンセンター管理運営事業について（令和2年度）

(1) 目的

場内環境の美化及び利用者の利便性の向上を図るため整備や施設管理業務に伴う臨時職員の賃金や各種負担金の支払いなどを行っています。

(2) 事業費

12,249,555円（令和2年度決算額）

※事業費には、公害健康補償汚染負荷量賦課負担金や補助金、臨時職員の賃金等を含みます。

(3) 整備の概要

- ① 場内の樹木消毒
- ② 場内の除草及び除草剤の散布
- ③ 施設保守点検
  - ・ 消防設備点検
  - ・ 自動ドア保守点検
  - ・ 施設警備
- ④ 周辺美化活動
  - ・ 毎週木曜日、施設運転管理事業者及び最終処分場管理者等と協働によりクリーンセンター周辺の清掃活動を実施しています。

# 大利根クリーンセンター事業報告書

## 1. 大利根クリーンセンター事業費の状況

○R 2年度 246,416,175 円 (加須クリーンセンター 780,330,669 円)

○R 元年度 231,119,679 円 (加須クリーンセンター 674,935,286 円)

○H30年度 214,060,375 円 (加須クリーンセンター 692,626,541 円)

## 2. ごみ処理の状況

### (1) 燃やすごみ搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
北川辺地域	2,434 t	2,502 t	2,474t
大利根地域	3,200 t	3,299 t	3,562t
栃木市(災害ごみ)	—	7t	—
合 計	5,634 t	5,808 t	6,036t

R2年度：搬入量の中から、草木類948t、紙類57t、布類1tの合計1,006tを分別し再資源化しました。

《参考》

・令和元年度5,808tに対し、R2年度対比 228tの増(3.7%増)

### (2) 粗大ごみ直接搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
北川辺地域	90 t	83 t	130t
大利根地域	133 t	145 t	173t
合 計	223 t	228 t	303t

R2年度：粗大ごみの中から、家具類149t、小型家電38t、金属類76tの合計263tを分別し再資源化しました。

### (3) 危険ごみ(乾電池、蛍光管)搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
北川辺地域	1 t	1 t	1 t
大利根地域	1 t	1 t	1 t
合 計	2 t	2 t	2 t

R2年度：乾電池1t・蛍光管1tの処理を行いました。

### (4) 燃やさないごみ、プラスチック類、ゴム製品搬入量

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
北川辺地域	426 t	429 t	473t
大利根地域	594 t	594 t	610t
合 計	1,020 t	1,023 t	1,083t

※廃プラスチック類は、北海道室蘭市内の施設及び茨城県ひたちなか市内の施設に運搬し、セメント生成の燃料及び原料。または、発電燃料として再資源化しています。なお、燃やさないごみの内162t、プラ・ゴム製品740t、危険ごみ21tは、加須クリーンセンターや中間処理施設に委託収集業者が直接搬入しています。

(5) 焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況

処分の内訳	H30 年度	R 元年度	R2 年度
再資源化	409t	447t	443t
埋立処分	120t	113t	142t
計	529t	560t	585t

3. ごみ焼却施設について

(1) ごみ焼却施設の修繕の状況について

①令和元年度の状況

区 分	内 容
① 焼却炉内耐火物修繕	2号炉左右側壁、落口シュート部等の耐火物取替修繕
② 投入扉油圧シリンダー修繕	1、2号投入扉油圧シリンダー交換及び油圧ユニット修繕
③ 塩化水素分析計取替修繕	塩化水素分析計2台の取替修繕
④ 1号炉運転制御装置修繕	中央制御室運転制御装置の修繕
⑤ 非常用自家発電装置修繕	ごみ焼却施設の非常用発電機の制御部、ブレーカー等の修繕
⑥ その他	ごみクレーン接点組換修繕、ホイールローダー修繕
支出済額	24,503,140円

②令和2年度の状況

区 分	内 容
① 焼却炉内耐火物修繕(1号炉)	築炉各所に張り出し部分があり、運転中に崩落し、運転不可になる可能性があるため、耐火物の交換等が必要
② 1号炉内火格子取替修繕	1号炉内の後燃焼段の火格子が全体的に摩耗し、固定側火格子に陥没孔が発見されたため、火格子の修繕を実施
③ 1号ガス冷室天井耐火物緊急修繕	ガス冷却室の天井耐火物の脱落に伴う緊急修繕
④ 2号炉燃焼天井耐火物緊急修繕	天井部分の耐火物の崩落個所の修繕
⑤ ごみ焼却施設 生活用水給水ポンプユニット緊急修繕	モーター一部分から異音が発生、交換修繕
⑥ その他	煙道熱電対用配管修繕、ごみホッパ監視カメラ緊急修繕他
支出済額	23,259,085円

(2) 環境測定結果

【目的】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び大気汚染防止法に基づく測定の実施とダイオキシン類対策特別措置法に定めるところによる、ダイオキシン類の測定を実施しています。

また、環境省から、一般廃棄物焼却施設における、焼却灰（主灰）、飛灰等の放射性セシウムの濃度測定要請を受け実施しています。



### ① ごみ焼却排ガス

測定結果は、下記のとおりでいずれも基準値内です。

測定項目	測定結果				排出基準値	単位
	1号炉煙突 (採取 R2. 11. 24)	2号炉煙突 (採取 R2. 11. 25)	1号炉煙突 (採取 R元. 11/1)	2号炉煙突 (採取 R元. 11/1)		
ばいじん濃度	0.002	0.003	0.003	0.003	0.25	g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物濃度	55	72	86	96	180	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup>
全硫黄酸化物量	0.05	0.05	0.084	0.038	72.6~75.5	m <sup>3</sup> /h
塩化水素濃度	6	7	25	38	200	mg/m <sup>3</sup>

### ② ダイオキシン類濃度

結果は、下記のとおり、いずれも国の「ダイオキシン類対策特別措置法」で定める排出基準値を下回る結果となっています。

排ガスの単位:ng-TEQ/m<sup>3</sup>N(ナノグラム)

集塵灰(ばいじん)の単位:ng-TEQ/g

施設名	R2年度(A) (測定日)	R元年度(B) (測定日)	H30年度 (測定日)	排出基準値 ※目標値	増減(A-B)
	1号炉 R2. 10. 8 2号炉 R2. 10. 8	1号炉 R元. 10. 30 2号炉 R元. 11. 9	1号炉 H30. 10. 4 2号炉 H30. 10. 4		
排ガス(1号炉)	0	0.0082	0.00029	10	△0.0082
排ガス(2号炉)	0.01	0	0.00026	10	0.01
集塵灰(ばいじん)	3.3(1.4)	2.2	4.2(1.8)	※3	1.1
焼却灰	0.0033	0.0021	0.00041	※3	0.0012

※ 大和クリーンセンターから発生する集塵灰(ばいじん)につきましては、薬剤処理設備を用いて十分な量の薬剤(重金属安定剤・キレート)と均質に練り混ぜ、重金属が溶出しないよう化学的に安定した処理(灰を薬剤により、コーティングします)を行ってから搬出しておりますので、ダイオキシン類が大気中等に排出されることはありません。

また、大和クリーンセンターにおきましては、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第7条の2に規定されている基準値3ng-TEQ/gは適用されませんが、施設における目標値として、法の基準値である3ng-TEQ/g以内を、独自に設定しております。

令和2年度の集塵灰(ばいじん)の測定結果が、目標値3ng-TEQ/g以内を上回る3.3ng-TEQ/gとなりましたが、この数値は、灰をコーティングする前の値であり、目標値を上回ってしまっても、安全性の問題が生じるものではありませんが、令和3年1月14日に再測定を行った結果、1.4ナノグラムと目標値を下回る値となっています。

③ 放射能（放射性ヨウ素、セシウム134、セシウム137）

○ ごみ焼却灰・飛灰

測定結果は、国が示している埋立処分の基準値（8,000Bq/kg）大きく下回っています。

単位：Bq/kg（ベクレル）

	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
ごみ焼却灰（主灰）	R2. 7.17	不検出	不検出	27.6	27.6
	R3. 1.15	不検出	不検出	13.0	13.0
ごみ飛灰	R2. 4.17	不検出	不検出	77.2	77.2
	R2. 5.15	不検出	不検出	85.1	85.1
	R2. 6.17	不検出	不検出	77.0	77.0
	R2. 7.17	不検出	不検出	69.6	69.6
	R2. 8.17	不検出	不検出	67.3	67.3
	R2. 9.17	不検出	不検出	79.3	79.3
	R2. 10.16	不検出	不検出	66.0	66.0
	R2. 11.17	不検出	不検出	88.8	88.8
	R2. 12.17	不検出	不検出	57.2	57.2
	R3. 1.15	不検出	不検出	61.2	61.2
	R3. 2.17	不検出	不検出	54.7	54.7
	R3. 3.17	不検出	不検出	51.9	51.9

※焼却灰及び飛灰の取扱い（環境省）

- ①セシウム合計が8,000ベクレル以下は、埋立処分
  - ②セシウム合計が8,000ベクレルを超え100,000ベクレル以下は、一時保管
  - ③セシウム合計が100,000ベクレルを超える場合は、適切に放射線を遮へいできる施設で保管
- なお、本市の場合は、①に該当する為、民間事業者に委託して路盤材として再生利用しています。

○ 排ガス

測定結果は、下記のとおり検出下限値未満です。

単位：Bq/kg（ベクレル）

	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
排ガス	R2. 1.10	—	不検出	不検出	—
	R3. 1.14	—	不検出	不検出	—

(3) 施設の稼働状況

○施設能力 20 t/16h×2基（計40 t/日）

項目	H30年度	R元年度	R2年度
運転日数	297日	311日	321日

※運転時間帯 午前9時～午後7時 10時間（月曜日～土曜日）

4. し尿搬入量

（単位：kℓ）

区分	H30年度	R元年度	R2年度	
北川辺地域	生し尿	425 kℓ	409 kℓ	376 kℓ
	浄化槽汚泥等	4,889 kℓ	5,634 kℓ	6,463 kℓ
	計	5,314 kℓ	6,043 kℓ	6,839 kℓ

大利根地域	生し尿	171 kℓ	138 kℓ	126 kℓ
	浄化槽汚泥等	5,051 kℓ	5,351 kℓ	5,492 kℓ
	計	5,222 kℓ	5,489 kℓ	5,618 kℓ
合 計		11,046 Kℓ	11,532 Kℓ	12,457 kℓ

※し尿焼却灰の処分状況については、28t を再資源化しています。

## 5. し尿処理施設について

### (1) し尿処理施設の修繕の状況について

#### ①令和元年度の状況

区 分	内 容
① 汚泥脱水機（駆動装置ほか）修繕	脱水機駆動装置の交換及び油圧ポンプユニット部他修繕
② 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ修繕	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ1台の取替修繕
③ 放流水COD計修繕	COD検出装置部の取替及びパッキン等消耗部品の取替修繕
④ 重油ポンプ修繕	重油ポンプ1台の交換
⑤ その他	ドラムスクリーン減速機モーター修繕、曝気槽上部照明取替修繕他
支出済額	15,918,503円

#### ② 令和2年度の状況

区 分	内 容
① オゾンモニター取替修繕	交換部品等の供給が終了している為、取替修繕
② ガス攪拌ブロウ取替修繕	ブロウ内に水が混入してしまい稼働不能となつて、更新
③ ろ布洗浄ポンプ取替	水量が低下してしまう為、ポンプの更新
④ 攪拌ブロウ取替修繕	軸受け部分から異音が発生、ブロウの更新
⑤ その他	脱臭炉温度調整計修繕、曝気ブロウ緊急修繕他
支出済額	15,622,200円

### (2) 環境測定結果

#### 【目的】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び水質汚濁防止法に基づき放流水の水質検査の実施とダイオキシン類対策特別措置法に定めるところによりダイオキシン類の測定を実施しています。

また、環境省から、一般廃棄物焼却施設における、焼却灰（主灰）の放射性セシウムの濃度測定要請を受け実施しています。

#### ① 放流水

測定結果は、毎月実施しておりますが、いずれも基準値を下回る値となっております。

測 定 項 目	測 定 結 果		基 準 値	単 位
	試料採取日 (R2. 5. 13)	試料採取日 (R2. 12. 9)		
水素イオン濃度(PH)	7.0(25℃)	7.1(20℃)	5.8~8.6	
生物化学的酸素要求量(BOD)	1.0	0.9	30	mg/ℓ
化学的酸素要求量(COD)	6.0	5.2	—	mg/ℓ
浮遊物質(SS)	<1.0	<1.0	70(60)	mg/ℓ
大腸菌数	<100	<100	3,000	個/ml

※上記以外の検査日、R2. 4. 7、R2. 6. 10、R2. 7. 8、R2. 8. 19、R2. 9. 9、R2. 10. 14、R2. 11. 18、R3. 1. 20、R3. 2. 17、R3. 3. 10

## ② ダイオキシン類濃度

結果は、下表のとおり、いずれも国の「ダイオキシン類対策特別措置法」で定める排出基準値を下回る結果となっています。

排ガスの単位：ng-TEQ/m<sup>3</sup> N (ナノグラム)

集塵灰（ばいじん）の単位：ng-TEQ/g

施設名	R2 年度(A) (測定日 R2. 12. 11)	R 元年度(B) (測定日 R 元. 10. 3)	H30 年度 (測定日 H30. 10. 5)	排出基準 ※目標値	増減(A-B)
排ガス	0.049	0.13	0.058	10	△0.081
焼却灰	0	0	0.000085	※3	0

△印は、前年度比較して減少したことを示しています。

## ③ 放射能（放射性ヨウ素、セシウム134、セシウム137）

測定結果は、国が示している埋立処分の基準値（8,000Bq/kg）大きく下回っています。

単位：Bq/kg（ベクレル）

区分	試料採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
し尿焼却灰	R2. 7. 17	不検出	不検出	86.0	86.0
	R3. 1. 15	不検出	不検出	77.6	77.6

### ※焼却灰及び飛灰の取扱い（環境省）

- ①セシウム合計が8,000ベクレル以下は、埋立処分
  - ②セシウム合計が8,000ベクレルを超え100,000ベクレル以下は、一時保管
  - ③セシウム合計が100,000ベクレルを超える場合は、適切に放射線を遮へいできる施設で保管
- なお、本市の場合は、①に該当する為、民間事業者に委託して路盤材として再生利用しています。

### (3) 施設の稼働状況

○処理能力 40 kℓ/日（し尿16 kℓ/日、浄化槽汚泥24 kℓ/日）

※運転時間 24 時間

## 6. 大利根クリーンセンター管理運営事業について（令和2年度）

### (1) 目的

場内環境の美化及び利用者の利便性の向上を図るため整備や施設管理業務に伴う臨時職員の賃金や各種負担金の支払いなどを行っています。

### (2) 事業費

7,807,542 円（令和2年度決算額）

※事業費には、公害健康補償汚染負荷量賦課負担金や補助金、臨時職員の賃金等を含みます。

### (3) 維持管理の概要

#### ① 高木の剪定

・敷地内にあります高木のクスノキ6本、ヒマラヤスギ14本の剪定を行いました。

#### ② 敷地内の除草

・シルバー人材センターに委託して、敷地内の除草を3回（5月・7月・11月）実施しました。  
・施設運転管理事業者と協働によりクリーンセンター敷地内外の除草や側溝及び施設周辺の清掃などを行い、景観等に配慮しました。

#### ③ 場内樹木等の消毒の実施

・場内の高木や低木の害虫駆除として年2回（9月・11月）実施しました。

令和2年度 指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて

1. 指定ごみ袋のサイズ別販売枚数

種類	サイズ	販売枚数(枚)	構成(%)
燃やすごみ	45ℓ	2,245,790	40.4
	30ℓ	1,404,120	25.3
	20ℓ	947,620	17.0
	15ℓ	962,180	17.3
	α	5,559,710	100.0
燃やさないごみ	45ℓ	166,340	45.6
	30ℓ	84,070	23.0
	20ℓ	61,650	16.9
	10ℓ	52,790	14.5
	β	364,850	100.0
総合計(α+β)		5,924,560	

【1世帯・1人当たり年間購入額】  
2,154円/世帯 919円/人

【販売価格】  
販売はすべて1冊10枚入り  
45ℓ:250円  
30ℓ:170円  
20ℓ:110円  
15ℓ:70円  
10ℓ:50円

令和2年10月1日現在

人口:112,852人(外国人含む)  
世帯:48,143世帯

2. 分別推進料の実績

項目	実績(円)
ごみ処理手数料(A) 歳入	103,703,660
必要経費(a)+(b)=(B) 歳出	68,458,302
・製造配送経費(a)	48,907,254
・取扱店徴収手数料(b)	19,551,048
分別推進料(A)-(B)	35,245,358

【分別推進料】  
・分別推進料とは、ごみの排出量に応じていただく受益者負担金です。  
・指定ごみ袋のサイズが大きいくほど高く設定されており、分別を徹底してごみが少なくなった方ほど負担が少なくなります。  
【算出方法】  
ごみ処理手数料から必要経費を差し引いた額(=原価に上乗せした分)

3. 分別推進料の使いみちについて

分別推進料は、地域や市民の皆様がごみの分別や減量化を行う取組の支援に充てています。

充当先業務名	分別推進料充当額(円)	主な内容
生ごみ処理容器購入費補助金	2,559,817	コンポスト 45基 電気式 71基
資源ごみ回収報償金	2,584,395	実施団体 52団体
ごみ集積所整備事業補助金	985,145	整備箇所 18カ所
リサイクル推進協力会交付金	15,305,700	協力会数 179地区
不法投棄防止事業	635,030	不法投棄防止看板購入 160枚 処理困難物処理 17,710kg
ごみ収集事業の一部(※)	13,175,271	
合計	35,245,358	

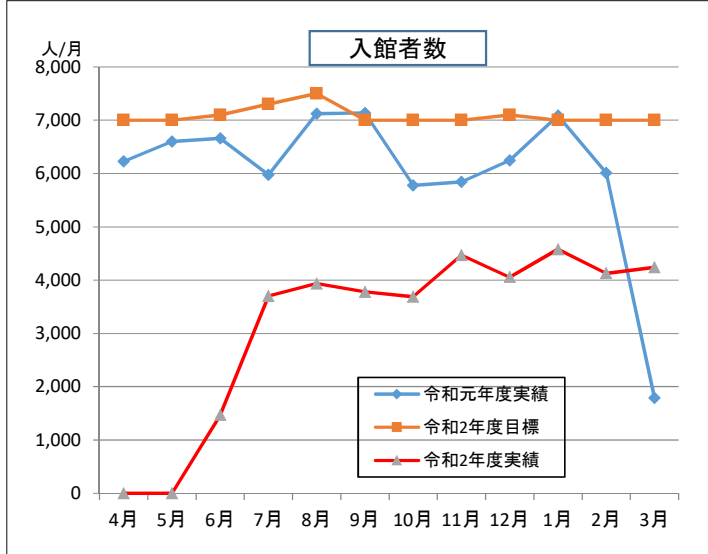
※市民の取組支援に充当後の残りを充てています。



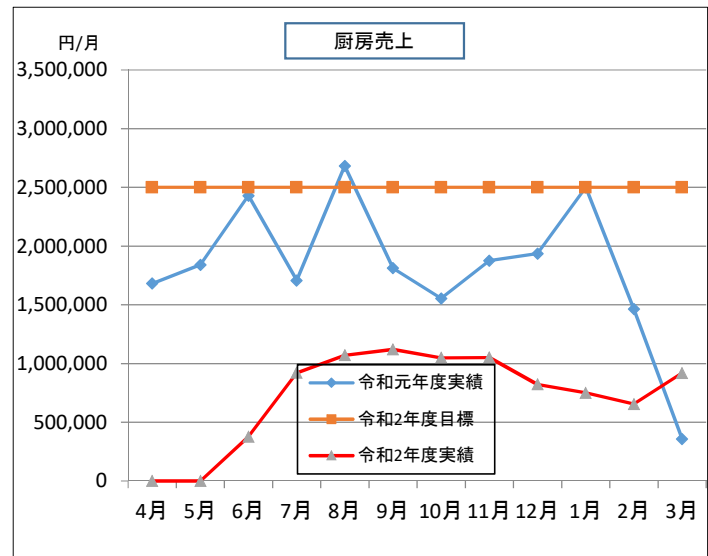
令和2年度 いなほの湯 運営実績

資料6

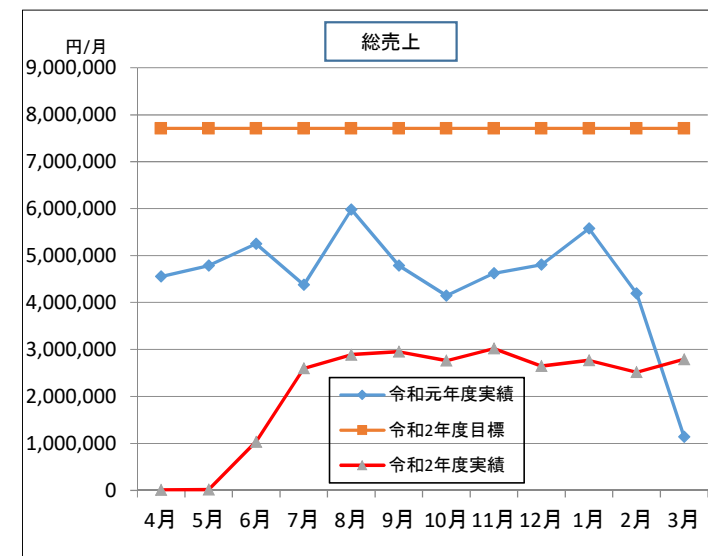
	入館者数		
	令和元年度	令和2年度	
	実績	目標	実績
	人/月	人/月	人/月
4月	6,228	7,000	0
5月	6,598	7,000	0
6月	6,662	7,100	1,469
7月	5,974	7,300	3,701
8月	7,121	7,500	3,935
9月	7,137	7,000	3,776
10月	5,779	7,000	3,689
11月	5,843	7,000	4,470
12月	6,247	7,100	4,057
1月	7,087	7,000	4,579
2月	6,011	7,000	4,129
3月	1,793	7,000	4,240
年度計	72,480	85,000	38,045



	厨房売上		
	令和元年度	令和2年度	
	実績	目標	実績
	円/月	円/月	円/月
4月	1,680,870	2,916,000	0
5月	1,839,790	2,916,000	0
6月	2,428,410	2,916,000	376,280
7月	1,706,420	2,916,000	920,190
8月	2,682,100	2,916,000	1,070,200
9月	1,811,120	2,916,000	1,120,000
10月	1,553,690	2,916,000	1,048,360
11月	1,875,160	2,916,000	1,052,000
12月	1,936,340	2,916,000	822,670
1月	2,499,500	2,916,000	749,970
2月	1,464,180	2,916,000	654,730
3月	357,850	2,924,000	918,800
年度計	21,835,430	35,000,000	8,733,200



	総売上		
	令和元年度	令和2年度	
	実績	目標	実績
	円/月	円/月	円/月
4月	4,558,173	7,708,333	11,821
5月	4,790,009	7,708,333	16,218
6月	5,249,882	7,708,333	1,035,405
7月	4,380,146	7,708,333	2,599,110
8月	5,981,273	7,708,333	2,890,078
9月	4,786,461	7,708,333	2,953,415
10月	4,145,626	7,708,333	2,764,962
11月	4,624,583	7,708,333	3,022,205
12月	4,808,266	7,708,333	2,647,289
1月	5,579,605	7,708,333	2,769,004
2月	4,194,571	7,708,333	2,519,292
3月	1,143,829	7,708,337	2,794,642
年度計	54,242,424	92,500,000	26,023,441



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため令和2年3月10日から同6月16日まで休館

## 令和 3 年度 一般廃棄物処理実施計画

## I 総則

## 1 一般廃棄物処理実施計画

この計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき策定するものであり、加須市一般廃棄物処理基本計画に沿って、一般廃棄物の排出の状況、処理主体、収集計画、中間処理計画及び最終処分計画等を定める。

## 2 計画期間

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

## 3 計画対象区域

加須市全域

## 4 目標値

一般廃棄物処理基本計画における目標値

	最終目標値（令和 3 年度）	（参考） 令和 2 年度見込み
リサイクル率 ※1	40%	38.1%
1 人 1 日当たりのごみ排出量 ※2	829g	998g

$$\begin{aligned} \text{※1 リサイクル率 (\%)} &= \text{資源化量 (t)} \div \text{ごみ排出量 (t)} \times 100 \\ &= \frac{\text{直接資源化量 (t)} + \text{中間処理後再生利用量 (t)} + \text{集団回収量 (t)}}{\text{ごみ排出量 (t)}} \times 100 \end{aligned}$$

$$\text{※2 1 人 1 日当たりのごみ排出量 (g)} = \frac{\text{ごみ排出量 (t)} \times 1,000,000}{365 \text{ 日} \times \text{人口 (10 月 1 日現在)}}$$

## Ⅱ 排出量の見込み

### 1 一般廃棄物の排出量の見込み

#### (1) ごみ

##### ア 家庭系・事業系別

(単位：t)

家庭系・事業系区分	基本計画値	実施計画値	実施計画値計
家庭系ごみ	31,116	30,722	39,808
事業系ごみ	5,181	9,086	

##### イ ごみの種類別

(単位：t)

種類	家庭系ごみ	事業系ごみ	計
燃やすごみ	21,998	6,070	28,068
燃やさないごみ (危険ごみ含む)	1,690	234	1,924
粗大ごみ	317	16	333
資源ごみ	5,822	2,766	8,588
紙・布類	2,250	50	2,300
スチール缶	118	-	118
アルミ缶	83	-	83
飲食用びん	494	-	494
ペットボトル	214	-	214
プラスチック類・ゴム製品	2,558	-	2,558
木くず	105	2,712	2,817
食品循環資源	-	4	4
小計	29,827	9,086	38,913
集団回収	895	-	895
合計	30,722	9,086	39,808

#### (2) し尿

(単位：kl)

種類	基本計画値	実施計画値	実施計画値計
し尿	655	1,140	32,480
浄化槽汚泥 (農業集落排水汚泥を含む)	35,497	31,340	

### Ⅲ 収集運搬計画

#### 1 家庭系ごみ

##### (1) 家庭系ごみ (分別収集)

(単位：t)

種類		収集主体	計画収集量	収集回数	排出方法
燃やすごみ		委託	21,207	2回/週	有料指定袋を使用し、排出
燃やさないごみ			704	2回又は1回/月	有料指定袋を使用し、排出
粗大ごみ			106	1回/週	戸別収集
資源ごみ	新聞・チラシ		2,250	2回/月	紐で十字に縛り排出
	雑誌・その他の紙				紐で十字に縛り排出 透明・半透明の袋を使用し、排出
	ダンボール				紐で十字に縛り排出
	飲料用紙パック				紐で十字に縛り排出
	布				透明・半透明の袋を使用し、排出
	スチール缶		118	2回又は1回/月	コンテナに排出
	アルミ缶		83	2回又は1回/月	コンテナに排出
	飲食用びん		494	2回又は1回/月	コンテナに排出
	ペットボトル		214	2回又は1回/月	コンテナに排出
プラスチック類・ゴム製品			2,558	1回/週	透明・半透明の袋を使用し、排出
危険ごみ	スプレー缶・ガス缶		14	2回/月	コンテナ等に排出
	蛍光管	9	コンテナ等に排出		
	ライター	12	コンテナ等に排出		
	乾電池	26	コンテナ等に排出		
	水銀体温計	(微量) 0	コンテナ等に排出		
合計			27,795		

##### (2) 家庭系ごみ (直接搬入)

(単位：t)

種類	搬入主体	計画収集量	搬入先
燃やすごみ	個人	791	加須・騎西地域の市民 加須クリーンセンター
燃やさないごみ		925	北川辺・大利根地域の市民 大利根クリーンセンター
粗大ごみ		211	
資源ごみ (木くず類)		105	(株) クワバラ・パンぷキン 加須クリーンセンター 大利根クリーンセンター
合計			2,032

## 2 事業系ごみ（直接搬入）

（単位：t）

種類	搬入 主体	計画収集量	搬入先
燃やすごみ	許可 事業者	6,070	加須・騎西地域の事業者 加須クリーンセンター 北川辺・大利根地域の事業者 大利根クリーンセンター
燃やさないごみ		234	
粗大ごみ		16	
資源ごみ（紙・布）		50	
資源ごみ（木くず類）		2,712	（株）クワバラ・パンぷキン 加須クリーンセンター 大利根クリーンセンター
資源ごみ（食品循環資源）		4	株式会社アイル・クリーンテック
合計		9,086	

## 3 し尿・浄化槽汚泥

（単位：kl）

種類	収集 主体	計画収集量 （単位:kl）	搬入先
し尿	許可 事業者	1,140	加須・騎西地域の市民 加須クリーンセンター 北川辺・大利根地域の市民 大利根クリーンセンター
浄化槽汚泥 （農業集落排水含む）		31,340	

## IV 処理計画

### 1 中間処理

(単位：t)

種類	処理主体	処分方法	計画処理量	備考	
燃やすごみ	加須クリーンセンター 大利根クリーンセンター	選別 焼却	27,481	資源物等選別後、焼却施設で焼却	
燃やさないごみ	加須クリーンセンター	選別 破砕	2,068	資源物等選別後、粗大ごみ処理施設で破砕	
粗大ごみ					
資源ごみ	新聞・チラシ	資源化	507	集積所、各クリーンセンターから排出	
	雑誌	資源化	503		
	その他の紙	(株) 須賀 三弘紙業 (株)	資源化		570
	ダンボール	(株) 育峯紙業	資源化		559
	飲料用紙パック		資源化		6
	布		資源化		282
	スチール缶	中田屋 (株)	資源化		131
	アルミ缶		資源化		90
	飲食用びん	(株) 山口商店	資源化 選別 運搬	531	生きびんを売却し、それ以外を色別に選別し、三栄ガラス (株) へ運搬
		三栄ガラス (株)	破砕 選別 資源化		白、茶を売却し、それ以外をカレットとして資源化
		(株) ウィズウェイスト ジャパン	破砕 選別 最終処分		容器包装リサイクル法に基づく再商品化事業者へ引渡し 選別残渣は、最終処分
	ペットボトル	加須クリーンセンター	選別	206	容器包装リサイクル法に基づく再商品化事業者へ引渡し
		(株) ダイヤ整環	資源化	8	ラベル付きのペットボトルを売却
	プラスチック類 ・ゴム製品	(株) ダイヤ整環	破砕 選別 圧縮梱包	2,100	中間処理 (破砕・選別・圧縮梱包) したのち、日鉄セメント (株)、(有) 築館クリーンセンター、サニックス (株) へ運搬
日鉄セメント (株)		選別 資源化	セメントの代替燃料及び原料でリサイクル		
(有) 築館クリーンセンター		資源化	農業用ハウスの暖房熱源でリサイクル		
サニックス (株)		選別 破砕 資源化	発電燃料でリサイクル		
(株) ウィズウェイスト ジャパン		運搬	900	ウィズペットボトルリサイクル (株) へ運搬	
ウィズペットボトル リサイクル (株)		選別 圧縮梱包		中間処理 (選別・圧縮梱包) したのち、容器包装リサイクル法に基づく再商品化事業者へ引渡し 選別残渣は、サンエコサーマル (株) へ運搬	
サンエコサーマル (株)		資源化		発電燃料でリサイクル	

種類		処理主体	処分方法	計画処理量	備考
資源ごみ	木くず類	(株)クワバラ・パンぷキン	破碎資源化	4,300	施設へ直接搬入、または、各クリーンセンターに搬入された後、選別した木くず類をチップ化し、発電燃料等に資源化
	食品循環資源	(株)アイル・クリーンテック	堆肥化	4	事業者が処理施設へ直接搬入する
危険ごみ	スプレー缶・ガス缶	加須クリーンセンター	選別破碎	14	ガス抜き・穴あけ後、金属等資源化
	蛍光管	(株)ウム・ヴェルト・ジヤパン	選別破碎	9	水銀回収、金属、ガラス等資源化
	ライター	(株)ダイヤ整環	破碎	12	金属等資源化
	乾電池	野村興産(株)	選別破碎	26	金属等資源化
	水銀体温計	野村興産(株)	選別破碎	(微量)0	金属等資源化
クリーンセンターの分別資源	布団	キムラセンイ(株)	選別破碎	7	各クリーンセンターに直接搬入、または、粗大ごみ戸別収集されたものを分別し資源化
	小型家電	リバーホールディングス(株) (処分施設：中田屋(株))	選別破碎	280	燃やさないごみ、粗大ごみで分別されたものを、粗大ごみ処理施設でピックアップ回収 金属等資源化
	焼却施設磁性物	加須再生資源事業協同組合 中田屋(株)	資源化	17	金属等資源化 加須クリーンセンターに搬入された後、焼却施設、または破碎施設で中間処理した後の金属類
	破碎鉄・非破碎鉄 アルミ屑		資源化	441	大和根クリーンセンターに搬入された後、選別した金属類
	硬質プラスチック	(株)ダイヤ整環	資源化	36	燃やさないごみ、粗大ごみで分別されたものを、粗大ごみ処理施設でピックアップ回収
	ガラス類・陶磁器類	ガラスリソーシング(株)	資源化	50	燃やさないごみ、粗大ごみで分別されたものを、粗大ごみ処理施設でピックアップ回収

## 2 し尿・浄化槽汚泥

(単位：kl)

種類	処理主体	処分方法	計画処理量
し尿	加須クリーンセンター 大和根クリーンセンター	水分： 標準脱窒素処理	32,480
浄化槽汚泥 (農業集落排水含む)		汚泥処理： 中間処理脱水・乾燥・焼却	

### 3 焼却灰及び不燃残渣

#### (1) ごみ

(単位：t)

処理方法	種類	処理主体	計画 処理量	計画 処理量計	処分方法
埋立	焼却灰	加須クリーンセンター	0	1,480	現在、搬入を行って おりません。
		埼玉県環境整備センター	150		最終処分
	ばいじん	(株) ウィズウェイストジャパン 新草津ウェイストパーク	720		最終処分
		グリーンフィル小坂 (株)	260		最終処分
	不燃残渣	埼玉県環境整備センター	350		最終処分
資源化	焼却灰	ツネイシカムテックス (株)	2,520	2,580	焼成・造粒により、 アークサンド(砂状) として資源化
		メルテック (株)	30		溶融固化し、スラグ 砂利として資源化
	ばいじん	メルテック (株)	30		溶融固化し、スラグ 砂利として資源化

#### (2) し尿・浄化槽汚泥

(単位：t)

処理方法	種類	処理先	計画 処理量	処分方法
資源化	し尿焼却灰	ツネイシカムテックス (株)	125	焼成・造粒により、アークサ ンド(砂状)として資源化



## V 処理施設

### 1 中間処理

#### (1) 市の処理施設

##### ア 加須クリーンセンター

##### 焼却施設

設置者	加須市			
設置年度	平成 10 年 4 月			
施設名及び所在地	ごみ焼却施設 加須市馬内 1,790 番地			
形式及び処理能力	全連続燃焼式ストーカ炉 216t/日 (108t/24h×2 炉)			
計画焼却処理量	22,600t (内 粗大ごみ施設からの可燃性残渣 455 t)			
稼働率	35% (年間稼働予定日数 300 日)			
中間処理残渣処分量	種類	処理主体	処分方法	計画処理量
	焼却灰	埼玉県環境整備センター	埋立	150t
		ツネイシカムテックス (株)	資源化	2,100t
	ばいじん	(株)ウイズウェイストジャパン	埋立	570t
		グリーンフィル小坂 (株)	埋立	260t
	焼却施設磁性物	加須再生資源事業協同組合	資源化	17t
	合計			3,097t

##### 破碎処理施設

設置者	加須市			
設置年度	昭和 63 年 4 月			
施設名及び所在地	粗大ごみ処理施設 加須市馬内 1,790 番地			
形式及び処理能力	衝撃、せん断併用回転式 (横型) 30t/5h			
計画破碎処理量	1,202t			
中間処理残渣処分量	種類	処理主体	処分方法	計画処理量
	可燃性残渣	加須クリーンセンター ごみ焼却施設	焼却	455t
	不燃性残渣	埼玉県環境整備センター	埋立	350t
	鉄屑 アルミ屑	加須再生資源事業協同組合	資源化	384t
	小型家電	中田屋(株)	資源化	243t
	木くず	(株) クワバラ・パンぷキン	資源化	408t
	プラスチック ・硬質プラ	(株) ダイヤ整環	資源化	124t
	ガラス類・陶 磁器類	ガラスリソーシング (株)	資源化	50t
	びん・スチー ル缶・アルミ 缶等	中田屋(株) 三栄ガラス (株)	資源化	54t
	合計			2,068t

ペットボトル減容施設

設置者	加須市			
設置年度	平成 22 年 3 月			
施設名及び所在地	ペットボトル減容施設 加須市馬内 1,790 番地			
形式及び処理能力	手選別及び圧縮・梱包 0.3t/1h			
計画処理量	214t			
中間処理残渣処分量	種類	処理主体	処分方法	計画処理量
	ペットボトル	容器包装リサイクル法に基づく再商品化事業者	資源化	197t
	ペットボトル	(株) ダイヤ整環	資源化	8t
	ペットボトルキャップ	(有) 孝栄総業	資源化	2t
	プラスチック(ラベル等)	(株) ダイヤ整環	資源化	7t
	合計			

し尿処理施設

設置者	加須市		
設置年	平成 3 年 7 月		
施設名及び所在地	し尿処理施設 加須市馬内 1,790 番地		
形式及び処理能力	標準脱窒素処理方式＋高度処理設備 75kl/日 (し尿：50kl/日、浄化槽汚泥：25kl/日)		
計画処理量	種類	計画処理量	
	し尿	650kl	
	浄化槽汚泥 (農業集落排水汚泥を含む)	19,340kl	
	合計	19,990kl	
中間処理残渣処分量	種類	処分方法	計画処理量
	し尿焼却灰	資源化	90t

イ 大利根クリーンセンター

焼却施設

設置者	加須市			
設置年度	平成 2 年 3 月			
施設名及び所在地	ごみ焼却施設 加須市北大桑 1,870 番地			
形式及び処理能力	準連続燃焼式ストーカ炉 40t/日 (20t/16h×2 炉)			
計画焼却処理量	4,881t			
稼働率	42% (年間稼働予定日数 290 日)			
中間処理残渣処分量	種類	処理主体	処分方法	計画処理量
	焼却灰	ツネイシカムテックス (株)	資源化	420t
		メルテック (株)	資源化	30t
	ばいじん	(株) ウィズウェイストジャパン	埋立	150t
		メルテック (株)	資源化	30t
	合計			630t

し尿処理施設

設置者	加須市		
設置年	平成 3 年 3 月		
施設名及び所在地	し尿処理施設 加須市北大桑 1,870 番地		
形式及び処理能力	標準脱窒素処理方式+高度処理設備 40kl/日 (し尿: 16kl/日、浄化槽汚泥: 24kl/日)		
計画処理量	種類	計画処理量	
	し尿	490kl	
	浄化槽汚泥 (農業集落排水汚泥を含む)	12,000kl	
	合計	12,490kl	
中間処理残渣処分量	種類	処分方法	計画処理量
	し尿焼却灰	資源化	35t

(2) 民間処理施設

ア プラスチック

事業者名	株式会社ダイヤ整環
所在地	加須市北平野 263 番 1
処理施設	加須市北平野 263 番 1
一般廃棄物の種類	プラスチック類・ゴム製品
処分方法	中間処理（選別破砕・圧縮・梱包）
処理能力	45.10t/日
計画処理委託量	2,100t

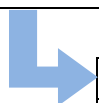
中間処理後のプラスチック

事業者名	日鉄セメント株式会社
所在地	北海道室蘭市仲町 64 番地
処理施設	北海道室蘭市仲町 64 番地
一般廃棄物の種類	中間処理後のプラスチック類・ゴム製品
処分方法	中間処理（選別）及び資源化
計画処理委託量	1,800t（事前協議の量）

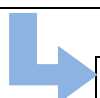
事業者名	有限会社築館クリーンセンター
所在地	宮城県栗原市築館上高森 49 番地 5
処理施設	宮城県栗原市築館上高森 49 番地 5
一般廃棄物の種類	中間処理後のプラスチック類・ゴム製品
処分方法	資源化
計画処理委託量	500t（事前協議の量）

事業者名	株式会社サニックス ひたちなか工場
所在地	茨城県ひたちなか市山崎 88 番地
処理施設	茨城県ひたちなか市山崎 88 番地
一般廃棄物の種類	中間処理後のプラスチック類・ゴム製品
処分方法	中間処理（選別・破砕）及び資源化
計画処理委託量	200t（事前協議の量）

事業者名	株式会社ウィズウェイストジャパン
所在地	さいたま市大宮区大成町 2 丁目 224 番地 1
一般廃棄物の種類	プラスチック類・ゴム製品
区分	運搬
計画処理委託量	900t



事業者名	ウィズペットボトルリサイクル株式会社
所在地	栃木県下野市下坪山 1709
処理施設	栃木県下野市下坪山 1709
一般廃棄物の種類	プラスチック類・ゴム製品
処分方法	中間処理（選別・圧縮梱包）及び資源化（容器包装リサイクル法に基づく処理）
処理能力	96t/日
計画処理委託量	900t（事前協議の量）



事業者名	サンエコサーマル株式会社
所在地	栃木県鹿沼市下石川 737 番地 55
処理施設	栃木県鹿沼市下石川 737 番地 55
一般廃棄物の種類	プラスチック類・ゴム製品
処分方法	資源化
処理能力	134.64t/日
計画処理委託量	300t（事前協議の量）

#### イ びん類

事業者名	株式会社ウィズウェイストジャパン
所在地	さいたま市大宮区大成町 2 丁目 224 番地 1
処理施設	清久リサイクルセンター 久喜市清久町 6 番 4
一般廃棄物の種類	びん類
処分方法	中間処理（選別）及び資源化（容器包装リサイクル法に基づく処理）
処理能力	162t/日（15 時間）
計画処理委託量	127t

事業者名	三栄ガラス株式会社
所在地	神奈川県川崎市川崎区浅野町 7 番 2
処理施設	熊谷工場 熊谷市三ヶ尻裏林 3270 番地
一般廃棄物の種類	カレット
処分方法	中間処理（選別・破碎）及び資源化
処理能力	100t/日
計画処理委託量	395t（白：180t、茶：164t、黒・緑：51t）

#### ウ 木くず類

事業者名	株式会社クワバラ・パンぷキン
所在地	さいたま中央区本町西 4-11-20
処理施設	ほくさいウッドリサイクル 加須市正能 2 番 5 外 4 筆
一般廃棄物の種類	木くず類
処分方法	中間処理（破碎）及び資源化
処理能力	90.54t/日
計画処理委託量	4,300t

エ 食品循環資源

事業者名	株式会社アイル・クリーンテック
所在地	大里郡寄居町三ヶ山 328 番地
処理施設	大里郡寄居町三ヶ山 328 番地
一般廃棄物の種類	食品循環資源
処分方法	中間処理（堆肥化）及び資源化
処理能力	108t/日
計画処理委託量	4t

オ 蛍光管

事業者名	株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン
所在地	大里郡寄居町三ヶ山 330 番地 1
処理施設	大里郡寄居町三ヶ山 330 番地 1
一般廃棄物の種類	蛍光管
処分方法	中間処理（破碎・選別）、資源化
計画処理委託量	蛍光管：9t

カ 乾電池

事業者名	野村興産株式会社
所在地	東京都中央区日本橋掘留二丁目 1 番 3 号
処理施設	イトムカ鋳業所 北海道北見市留辺蘂町富士見 217 番地 1
一般廃棄物の種類	乾電池
処分方法	中間処理（破碎・選別）、資源化及び最終処分
計画処理委託量	乾電池：26t

キ 小型家電

事業者名	リバーホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区大手町 1 丁目 7 番 2
処理施設	中田屋株式会社加須工場（再資源化事業計画に定める処分施設） 加須市志多見 2236 番地
一般廃棄物の種類	小型家電
処分方法	中間処理（破碎・選別）、資源化
計画処理委託量	小型家電：280t

ク ガラス類・陶磁器類

事業者名	ガラスリソーシング株式会社
所在地	千葉県銚子市春日町 7 4 0 番地の 1
処理施設	千葉県銚子市春日町 7 4 0 番地の 1
一般廃棄物の種類	ガラス類・陶磁器類
処分方法	中間処理（夾雑物除去、破碎、造粒、分級）及び資源化
計画処理委託量	50t（ガラス類：20t、陶磁器類：30t）

(3) 引き渡し

ア 新聞・チラシ、雑誌、その他の紙、ダンボール、飲料用紙パック、布類

事業者名	所在地	計画引渡量
株式会社須賀	加須市志多見 2252 番地	2,427t
三弘紙業株式会社	加須市大桑二丁目 12 番 1 号	
株式会社育峯紙業	加須市砂原 2320 番 1	

イ 布団

事業者名	所在地	計画引渡量
キムラセンイ株式会社	加須市南小浜 370 番 1	7t

ウ スチール缶、アルミ缶、金属類

事業者名	所在地	計画引渡量
中田屋株式会社	加須市志多見 2236 番地	スチール缶 145t
		アルミ缶 90t
		鉄屑 57t
加須市再生資源事業協同組合 (搬入先：中田屋株式会社)	加須市不動岡 721 番地 3	焼却残渣磁性物 17t 鉄屑・アルミ屑 384t

エ びん類 (生きびん、白、茶)

事業者名	所在地	計画引渡量
株式会社山口商店	加須市日出安 998 番地 7	10t
三栄ガラス株式会社 熊谷工場	熊谷市三ヶ尻裏林 3270 番地	白 180t 茶 164t

オ 硬質プラスチック

事業者名	所在地	計画引渡量
株式会社ダイヤ整環	加須市北平野 263 番 1	36t

カ ペットボトル

事業者名	所在地	計画引渡量
株式会社ダイヤ整環	加須市北平野 263 番 1	8t

## 2 焼却灰資源化施設及び最終処分施設

### (1) 焼却灰資源化施設（民間委託）

事業者名	ツネイシカムテックス株式会社
所在地	広島県福山市沼隈町大字常石 1083 番地
処理施設	大里郡寄居町大字三ヶ山 250 番地 1
一般廃棄物の種類	焼却灰（ごみ及びし尿）
処分方法	資源化（焼成による資源化）
処理能力	288t/日（24 時間）
計画処理委託量	2,645t（ごみ 2,520 t、し尿 125 t）

事業者名	メルテック株式会社	
所在地	栃木県小山市大字梁 2333 番地 29	
処理施設	栃木県小山市大字梁 2333 番地 29	
一般廃棄物の種類	焼却灰、ばいじん、汚泥、ガラスくず、陶磁器くず	
処分方法	資源化（溶融固化による資源化）	
処理能力	110.76t/日	
計画処理委託量	種類	計画処理量
	焼却灰	30t
	ばいじん	30t
	合計	60t

### (2) 最終処分場

#### ア 加須市

設置者	加須市	
所在地	加須市三俣二丁目 1 番 1	
処理施設	一般廃棄物最終処分場 加須市戸崎 992	
形態	一般廃棄物最終処分場	
埋立開始年月	平成 7 年 4 月	
埋立面積	6,650 m <sup>2</sup>	
埋立容積	32,600 m <sup>3</sup>	
残余容積	11,151 m <sup>3</sup> （令和 3 年 2 月末日現在）	
計画埋立量	種類	計画処理量
	焼却灰	0t
	ばいじん	0t
	不燃残渣	0t
	合計	0t



イ 県委託

設置者	埼玉県	
所在地	埼玉県さいたま市浦和区高砂	
処理施設	埼玉県環境整備センター 大里郡寄居町大字三ヶ山 368	
形態	一般廃棄物最終処分場	
埋立開始年月	平成元年 2 月	
埋立面積	282,500 m <sup>2</sup>	
埋立容積	2,758,000 m <sup>3</sup>	
残余容積	1,031,120 m <sup>3</sup> (令和 2 年 3 月末日現在)	
計画埋立量	種類	計画処理量
	焼却灰	150t
	不燃残渣	350t
	合計	500t

ウ 民間委託

設置者	株式会社ウイズウェイストジャパン	
所在地	さいたま市大宮区大成町 2 丁目 224 番地 1	
処理施設	新草津ウェイストパーク 群馬県草津町大字前口字細久保 189 番 1 外	
形態	管理型	
埋立開始年月	平成 22 年 2 月	
埋立面積	41,866 m <sup>2</sup>	
埋立容積	850,000 m <sup>3</sup>	
残余容積	132,874 m <sup>3</sup> (令和 2 年 3 月 23 日現在)	
計画埋立量	種類	計画処理量
	焼却灰	40t
	ばいじん	830t
	不燃残渣 (びん選別残渣)	10t
	合計	880t

設置者	グリーンフィル小坂株式会社	
所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山字杉沢 96 番地 29	
処理施設	グリーンフィル小坂 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山字杉沢 96 番 29	
形態	管理型	
埋立開始年月	平成 16 年 12 月	
埋立面積	91,400 m <sup>2</sup>	
埋立容積	2,700,000 m <sup>3</sup>	
残余容積	1,332,457 m <sup>3</sup> (令和 2 年 3 月末日現在)	
計画埋立量	種類	計画処理量
	ばいじん	260t

## 第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画の策定概要について

### 1 目 的

本市は、平成 24 年 3 月に一般廃棄物処理基本計画（計画期間：平成 24 年度から平成 33 年度）を策定し、各種施策展開を行ってきたが、処理施設の老朽化が顕著になってきており、ごみ及び生活排水の処理の効率化を図る上で、処理体制の見直し等が重要な課題となっている。そこで、今後の一般廃棄物（ごみ及び生活排水）の処理における課題解決の方策を見極め、円滑な一般廃棄物の処理を推進するため、概ね 10 年先を見据えた一般廃棄物処理基本計画を策定することを目的とする。

### 2 策定期期

策定の時期については、当初、令和 3 年度中を予定しておりましたが、本市が進めている「加須市公共施設等総合管理計画」において、加須及び大利根クリーンセンターの焼却施設、粗大ごみ処理施設、し尿処理施設の今後の整備方針について協議しているところであり、公共施設総合管理計画における整備方針は、一般廃棄物の収集を含めた施設の体制の整備及び財源の確保の前提となっており、変動がある場合は一般廃棄物処理基本計画見直しの必要が生じることとなります。

このようなことから、一般廃棄物処理基本計画と公共施設総合管理計画との整合をとったうえで進めていく必要があるため令和 3 年度中の策定を見送り、令和 4 年度中に策定をします。

### 3 各計画の構成

#### (1) 第 2 次 加須市一般廃棄物処理基本計画

##### ア ごみ処理基本計画

- (ア) ごみ処理基本計画の策定趣旨（計画の背景、計画の位置付け、計画年度）
- (イ) 一般廃棄物処理の現状（ごみ発生量の実績、処理経費の実績）
- (ウ) これまでのごみの資源化・減量化への取り組みの検証
- (エ) 課題の抽出
- (オ) ごみ処理の基本理念と基本方針
- (カ) ごみ処理基本計画（ごみ発生量及び処理量の見込み、ごみ処理の施策、施設整備等）

##### イ 生活排水処理基本計画

- (ア) 生活排水処理の現況（生活排水処理の実績の実績、処理経費の実績）
- (イ) 基本理念と基本方針
- (ウ) 生活排水処理基本計画（生活排水処理の予測、処理主体、処理計画、施設整備）

#### 4 市民意識調査の実施支援

市民を対象として、ごみの排出やリサイクルの実態、ごみの減量化、資源化、処理等に関する行動・意向等を把握するために実施する意識調査を行う。

- (1) 調査対象者 18歳以上の市民、1,000名（無作為抽出）
- (2) 調査時期 令和4年2月下旬から3月上旬（予定）
- (3) 意識調査結果の反映 調査結果を踏まえ、必要な事項を一般廃棄物処理基本計画案に反映

## 第2次一般廃棄物処理基本計画策定に係るアンケートについて（案）

### 1 目的

このアンケート調査は、ごみ処理に対する市民の意向や取組状況を把握することを目的として実施し、この結果は、ごみの排出抑制や分別の徹底、リサイクルの推進を着実に進めるための施策に関する基礎データとする。

### 2 調査該当者

18歳以上の市民1,000人（男500人／女500人）

### 3 実施期間

令和4年2月下旬から3月上旬頃

### 4 調査概要

次の8つの観点から、ごみの資源化・減量化に対する関心度や理解度、実施状況等について調査することにより、課題を整理し今後の方策を検討する。

#### **(1) ごみ分別への関心度及び理解度**

問9:5種18分別への理解度、 問10.問11:分別の取組状況

【5Rの推進事業】

#### **(2) ごみの排出の習得度及び資源ごみ等の対応**

問12:ごみの排出への情報源 問13:ごみ集積所の現状 問14:指定ごみ袋の利用状況

問15:資源ごみの排出状況 問16:生ごみの処理対応

【5Rの推進事業】【ごみ収集事業】【資源物再生処理事業】【バイオマス資源化事業】

#### **(3) クリーンセンターへの直接搬入**

問17:直接搬入の有無 問18:直接搬入をした理由

【加須クリーンセンターごみ処理事業】【大利根クリーンセンターごみ処理事業】

#### **(4) ごみの減量化とリサイクルへの関心度及び理解度**

問19:ごみ減量やリサイクルへの関心度 問20.問21:ごみ減量やリサイクルへの実践状況

【5Rの推進事業】【資源物再生処理事業】

#### **(5) 行政のごみの資源化・減量化への取組**

問22:5Rへの理解度 問23:市の取組の認知 問24.取組の推進

【清掃活動促進事業】【5Rの推進事業】【リサイクル協働事業】【バイオマス資源化事業】

【食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業】

**(6) 食品ロスについて**

問 25:食品ロスへの認知 問 26:発生原因

【食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業】

**(7) プラスチックごみについて**

問 27:プラスチックごみへの認知 問 28:プラスチックごみ削減のための実践状況 問 29:プラスチック製スプーンやフォークの利用

【食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業】

**(8) 災害廃棄物について**

問 30:災害廃棄物への関心

【一般廃棄物処理基本計画策定事業】

※問 1～問 8 は、回答者の情報及び市の住み心地です。

## 第2次加須市一般廃棄物処理基本計画策定に向けての市民アンケート調査のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

加須市（以下「本市」という。）は、長期的かつ総合的な視点に立った計画的なごみ処理の推進を図るための基本方針として、「加須市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。

本計画に基づき、平成 25 年 4 月から、各地域により異なっていたごみの分別を 5 種 18 分別に一元化するなど、市民の皆様との協働により、ごみの分別の徹底を一層推進し、最終処分場の延命化と循環型社会の構築を図ることにより、「日本一のリサイクルのまち」を目指してきました。

本市から排出されるごみ量全体は、ごみ分別一元化等により減少したものの、現在は、ほぼ横ばいで推移しています。また、近年は、国内のみならず世界的にも海洋プラスチック問題や食品ロスなどに関することが注目されています。さらには、コロナ禍における新しい生活様式が取り入れられ、外出の自粛などに伴いごみの排出量にも変化がみられています。

このような状況を踏まえ、今回、ごみ処理基本計画を策定することに先立ち、ごみ減量やリサイクルに関する取り組みなどを把握し、今後の減量施策等を検討するうえで参考とするためにアンケート調査を実施いたします。

対象者につきましては、市民の皆様の中から無作為に 1,000 人を選び、ご協力をお願いしています。回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 【記入上のお願い】

- この調査は、加須市にお住いの市民の方を対象としています。
- 回答は、同封の返信用封筒に入れ、令和4年3月 日（ ）までにご投函ください。

【問合せ先】 加須市役所環境安全部 資源リサイクル課  
電話番号 0480-62-1111（代表）

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの年齢（○は1つ）

1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代
6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上		

問2 世帯人数（○は1つ）

1. 1人暮らし	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上
----------	-------	-------	-------	-------	---------

問3 お住いの地区（○は1つ）

1. 加須	2. 不動岡	3. 三俣	4. 礼羽	5. 大桑
6. 水深	7. 樋遣川	8. 志多見	9. 大越	
10. 騎西	11. 田ヶ谷	12. 種足	13. 鴻荃	14. 高柳
15. 北川辺西(飯積・麦倉・柳生)				
16. 北川辺東(小野袋・柏戸・向古河・伊賀袋・駒場・栄・本郷・陽光台1丁目・陽光台2丁目)				
17. 東	18. 原道	19. 元和	20. 豊野	

問4 あなたの職業（○は1つ）

1. 自営業	2. 農業	3. 会社員・公務員(給与所得者)
4. 主婦・主夫	5. アルバイト・フリーター	6. 学生
7. 無職	8. その他( )	

2 本市の住み心地についてお伺いします。

問5 あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか（○は1つ）

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい	5. 住みにくい	

問6 あなたはこれからも本市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

1. ずっと住み続けたい	2. 当分は住み続けたい	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば市外に移りたい	5. すぐにでも市外に移りたい	

問7 問6で住み続けたい（1または2）と答えた方にその理由を伺います。（○は2つまで）

1. 都市基盤など生活環境が良い	2. 自然環境が豊かである	3. 交通の便が良い
4. 隣近所との関係が良い	5. 地域になじみや愛着がある	6. 仕事に便利である
7. 日常の買い物 convenient である	8. 住宅に満足している	
9. その他( )		

問8 問6で移りたい(4 または 5) とお答えも方にその理由を伺います。(〇は2 つまで)

- |                    |                 |             |
|--------------------|-----------------|-------------|
| 1. 都市基盤など生活環境が良くない | 2. 自然環境が乏しい     | 3. 交通の不便である |
| 4. 隣近所との関係が良くない    | 5. 地域になじみや愛着がない | 6. 仕事の都合のため |
| 7. 日常の買い物が不便である    | 8. 住宅に不満のため     |             |
| 9. その他( )          |                 |             |

本市のごみ処理についてお伺いします。

### 3 ごみ分別について

問9 本市では、適正利用と再利用を進めるために、5 種 18 分別に分けて出していただくように  
お願いしています。5 種 18 分別の種類は、ご存知でしょうか(〇は1 つ)

- |           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| 1. すべてわかる | 2. 大体わかる | 3. よくわからない |
|-----------|----------|------------|

問10 ごみを集積所へ出すときに、ご家庭で事前に5 種 18 分別に分けていますか。(〇は1 つ)

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. すべて分別している | 2. ある程度分別している | 3. 分別はしていない |
|--------------|---------------|-------------|

問11 問10で「2」または「3」とお答えした方にお伺いいたします。「ある程度分別している」、  
「分別はしていない」の理由をお答えください。(〇は1 つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 分別の対象となるごみの種類がよくわからないから     |
| 2. 分別をどのようにしてよいのかわからないから       |
| 3. 分別したごみを収集日まで保管しておく場所がないから   |
| 4. 分別するのが面倒だから                 |
| 5. 集積所にて看板や地域の方に聞いて分別してから出している |
| 6. その他(具体的に: )                 |

### 4 ごみの排出について

問12 ごみの出し方や分別方法等、ごみに関する情報はどちらで確認していますか。(〇は1 つ)

- |                   |                       |                 |
|-------------------|-----------------------|-----------------|
| 1. ごみカレンダー(A3、白黒) | 2. ごみの分け方・出し方(A3、カラー) | 3. ごみ分別品目辞典(冊子) |
| 4. 市ホームページ        | 5. 市アプリ(かぞっぷ)         | 6. ごみ集積所の看板     |
| 7. 自治会・リサイクル推進員   | 8. 家族、友人、知人           | 9. 市役所への問合せ     |



問13 ごみ集積場所のごみ出しのルールが守られていると思われませんか。(○は1つ)

	きちんと守られている	大体守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない
ごみを出す時間	1	2	3	4	5
指定の袋を使用	1	2	3	4	5
ごみの分別	1	2	3	4	5
ごみの収集日	1	2	3	4	5

問14 現在、指定ごみ袋は、燃やすごみ4種類(45ℓ、30ℓ、20ℓ、15ℓ)、燃やさないごみ4種類(45ℓ、30ℓ、20ℓ、10ℓ)の大きさがあります。

普段よく使う袋は、どの大きさですか。また、袋の大きさとして、あったほうが良いと思う袋は、どの大きさですか。(○はそれぞれ2つ以内、その他のサイズは、数字を記入)

袋の種類		45ℓ	30ℓ	20ℓ	15ℓ	10ℓ	5ℓ	その他のサイズ
普段よく使う袋の大きさ	燃やすごみ (青色の指定袋)							
	燃やさないごみ (透明の指定袋)							
あったほうが良いと思う袋の大きさ	燃やすごみ (青色の指定袋)							ℓ
	燃やさないごみ (透明の指定袋)							ℓ

問15 新聞やペットボトル等のリサイクルできるごみは、主にどのように処分していますか。(それぞれの品目で、○は1つ)

	所定のごみ集積所	スーパー等の店頭回収	PTA等の集団資源回収	回収業者やリサイクル店	その他
新聞	1	2	3	4	5
衣類	1	2	3	4	5
ペットボトル	1	2	3	4	5
缶・びん	1	2	3	4	5

問16 生ごみは、どのように処理していますか。(○は1つ)

1. コンポストを使用し自家処理
2. 電気式生ごみ処理機を使用し自家処理
3. 電気式生ごみ処理機を使用し、乾燥させたのちに燃やすごみとして集積所に出す
4. 生ごみの水分をよくきり、燃やすごみとして集積所に出す
5. そのまま燃やすごみとして集積所に出す
6. その他(具体的に: _____)

## 5 クリーンセンターへの直接搬入について

問17 あなたは、加須クリーンセンター若しくは大利根クリーンセンターに家庭から出たごみを直接搬入したことがありますか。(〇は1つ)

1. 直接搬入したことがある	2. 直接搬入したことはない
3. わからない	

問18 直接搬入した理由は何ですか。(〇は1つ)

1. 粗大ごみを出すため	
2. 片付けや引っ越しなどで一時的に多量のごみを処分する必要があったため	
3. 集積所に出したくないため	
4. 集積所に出すのを忘れてしまったため	
5. 自分の都合に合わせて出せるため	
6. その他(具体的に: _____)	

## 6 ごみの減量化とリサイクルについて

問19 あなたは、ごみの減量やリサイクルに関心がありますか。(〇は1つ)

1. 非常に関心がある	2. ある程度関心がある	3. あまり関心がない
4. まったく関心がない	5. わからない	

問20 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルを実践(じっせん)していますか。以下の項目毎に実践状況を選んでください。(それぞれ〇は1つ)

	よく実践している	負担がかからない範囲で実践している	必要だと思うが、あまり実践していない	実践していない
① 詰め替え製品を選ぶ	1	2	3	4
② 簡易包装の商品を購入している	1	2	3	4
③ リサイクルショップやフリーマーケットを利用している	1	2	3	4
④ スーパーマーケット等の店頭回収を利用している	1	2	3	4
⑤ 調理の際には、できるだけ食べ残しやごみが出ないように気をつけている	1	2	3	4
⑥ PTAなどが行う集団資源回収に出している	1	2	3	4
⑦ コンポスト等にて生ごみを減量、堆肥化している	1	2	3	4
⑧ 生ごみを出すときは、水切りを十分に行っている	1	2	3	4
⑨ 使い捨て商品はできるだけ買わない	1	2	3	4
⑩ 過剰包装を断る	1	2	3	4
⑪ 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわない	1	2	3	4

	よく実践している	負担がかからない範囲で実践している	必要だと思うが、あまり実践していない	実践していない
⑫ 外出時にはマイボトルを持参する	1	2	3	4
⑬ 故障・破損したものは、なるべく修繕・修理して使うようにしている	1	2	3	4
⑭ ごみの減量・資源化等の身近な問題について、家族で話題にしている	1	2	3	4

問21 問20で、1つでも「3」または「4」とお答えになった方にお聞きします。

あなたがごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 面倒だから 2. ごみの減量やリサイクルの方法がわからないから 3. ごみの減量やリサイクルを実践してもあまり効果がないと思うから 4. 周囲にごみの減量やリサイクルを実践している人がいないから 5. 保管する場所がないから 6. その他(具体的に: _____)
--

## 7 行政の取り組みについて

問22 本市ではごみの適正処理を進めるため「5R」\*を推進しています。「5R」や「3R」という言葉を見たり、聞いたりしたことはありますか。(〇は1つ)

1. 「3R」「5R」両方見たり聞いたりしたことがある	2. 「3R」だけ見たり聞いたりしたことがある
3. 「5R」だけ見たり聞いたりしたことがある	4. 両方見たり聞いたりしたことがない

\*「5R」とは：リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（分別して資源化）、リフューズ（不要なものは断る）、リペア（修理して使う）

問23 あなたは、本市が行っている取組を知っていますか。また、利用・参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

1. ごみ分別品目辞典の配布	2. ごみ収集カレンダーの配布
3. 生ごみ処理容器購入補助金	4. 緑のリサイクル事業
5. 粗大ごみの戸別収集	6. 携帯電話やパソコン等の使用済み小型家電の回収
7. リサイクルフェアの開催(今年度はコロナ感染防止のため未開催)	8. アプリ(かぞっぷ)のごみ出しカレンダー
9. リサイクル推進員への支援	10. 食品ロスの削減(食べきりかぞ協力店)
11. 快適かぞ(市内一斉清掃)	12. プラスチック類のリサイクル
13. 資源ごみ回収報償金(PTA等の団体による資源回収報償金)	

問 24 あなたは、ごみ減量・リサイクル活動を更に推進するために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. ごみ・資源の分別徹底をさらにPRしていくこと
2. マイバッグ持参など市民1人ひとりの意識改革がなされること
3. まだ使用可能な家具などのリユース(再利用)が促進していくこと
4. 資源ごみの収集回数を増やすこと
5. 生ごみ処理容器購入に対する助成を拡大すること
6. 自治会やPTAなどが行う集団回収が拡充されること
7. 環境・ごみ問題を学習できる場を増やしていくこと
8. 食品ロスを減らすための取組の周知と啓発を推進すること。
9. 販売店が過剰包装を減らすこと
10. 企業が、ごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造・販売すること
11. 特になし
12. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

## 8 「食品ロス」について

問 25 あなたは、「食品ロス」という言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1. 聞いたことがあり、言葉の意味を知っている
2. 聞いたことがあるが、言葉の意味は知らない
3. 聞いたことがない

※食品ロスとは、「本来食べられるのに廃棄される食品」のことで、日本国内で約600万トンあると言われています。

問 26 ご家庭において「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。あてはまる番号を選んでください。(〇はいくつでも)

1. 食品を買いすぎ、使い切れずに余ってしまうため
2. 食品を買ったが、食べるのを忘れて古くなってしまったため
3. 家に在庫があるのに不要なものを買ってしまったため
4. 料理を作りすぎて食べ残してしまったため
5. 期限切れに近い見切り品を買ったが食べきれなかったため
6. 家庭菜園等で消費できない量を収穫した(もらった)ため
7. 食品ロスは出ない
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

## 9 プラスチックごみについて

問27 プラスチックごみが適正に処理されなかったことにより、海に流出したプラスチックごみが世界的に問題となっています。あなたは、「海洋プラスチックごみ」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3. わからない |         |

問28 あなたは、「海洋プラスチックごみ」を減らすためのどのようなことを実践(じっせん)していますか。あてはまる番号を選んでください。(○はいくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 買い物に行く時は、マイバッグを持参している                 |   |
| 2. コンビニやファーストフード店などでストローやスプーンなどの利用は断っている |   |
| 3. 洗剤やシャンプーなどは詰替えを利用している                 |   |
| 4. プラスチック類の分別に協力している                     |   |
| 5. 外出時にはマイボトルを持参している                     |   |
| 6. 道路等のプラスチックごみの清掃活動を行っている               |   |
| 7. その他(具体的に: _____)                      | ) |

問29 あなたは、最近1週間以内に買い物をした店舗でプラスチック製のスプーンやフォークをもらいましたか。(○は1つ)

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1. もらった  | 2. もらわなかった   |
| 3. わからない | 4. 買い物をしていない |

## 10 災害廃棄物について

問30 今後、台風や大規模水害等で発生するごみ(災害廃棄物)について、不安に感じることは何ですか。(○はいくつでも)

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 災害廃棄物の分別方法や出し方         |   |
| 2. 災害廃棄物の収集・運搬・処理方法       |   |
| 3. 災害時での、災害廃棄物に関する情報の周知方法 |   |
| 4. ごみ処理施設の処理能力            |   |
| 5. 特に不安を感じない              |   |
| 6. その他(具体的に: _____)       | ) |

1 1 本市のごみ処理やリサイクル行政へのご意見、ご提案等について

問31 本市のごみ処理やリサイクル行政にご意見、ご提案等がありましたら、ご記入ください。




ご協力ありがとうございました。

# 加須市のリサイクル率は 7年連続全国トップ5！

資源リサイクル課

令和元年度の本市のリサイクル率は、人口10万人以上の自治体で全国第5位になりました。リサイクル推進員を中心とした市民の皆さまの分別のご協力により、7年連続して全国トップ5に入る高いリサイクル率を維持しています。

## リサイクル率ランキング

平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位 小金井市 51.8%	1位 鎌倉市 52.0%	1位 鎌倉市 52.1%
2位 鎌倉市 51.5%	2位 小金井市 51.3%	2位 小金井市 50.0%
3位 倉敷市 45.3%	3位 倉敷市 44.0%	3位 倉敷市 46.0%
4位 国分寺市 39.5%	4位 加須市  38.4%	4位 国分寺市 43.0%
5位 加須市  38.8%	5位 国分寺市 37.9%	5位 加須市  37.1%
6位 調布市 36.7%	6位 東村山市 36.3%	6位 小牧市 36.6%
7位 東村山市 36.5%	7位 小牧市 36.1%	7位 東村山市 35.6%
8位 小牧市 35.2%	8位 調布市 36.0%	8位 調布市 35.4%
9位 立川市 34.7%	9位 立川市 35.0%	9位 立川市 34.0%
10位 西東京市 34.3%	10位 西東京市 33.8%	10位 西東京市 33.2%

出典：環境省 一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和元年度）について  
（令和3年3月30日）

※人口10万人以上

## リサイクル率の推移

